

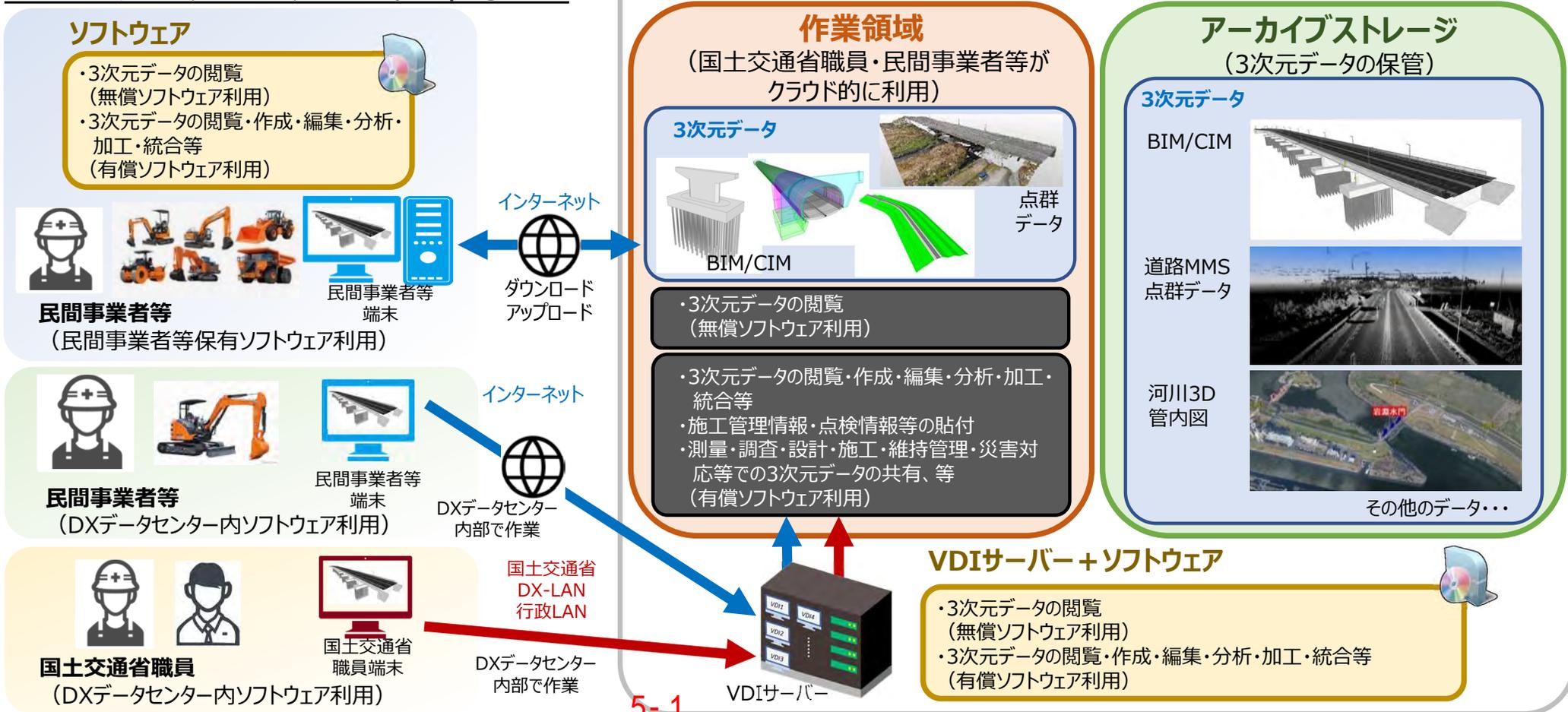
○ これまでのBIM/CIM活用における課題

- ・中小規模の施工業者にとって、BIM/CIMを扱うソフト、端末を調達、使用する負担が大きい(技術面、費用面)
- ・BIM/CIMデータの3次元データの容量が大きく、インターネット回線でのデータ受け渡し、情報共有が困難



- ・BIM/CIMデータを一元的に保管し、受発注者双方のBIM/CIM活用と共有するためのシステムとして、国総研に「DXデータセンター」を構築
- ・地元建設会社等・受注者は高性能パソコンや3次元ソフトが無くても、無償で3次元データの閲覧が可能。
- ・高度利用………受発注者が3次元データの閲覧、作成、編集等をDXセンターの作業領域にて可能。

■ DXデータセンターで出来ること



National Institute for Land and
Infrastructure Management

DXデータセンター・利用ガイド (※正式運用編)

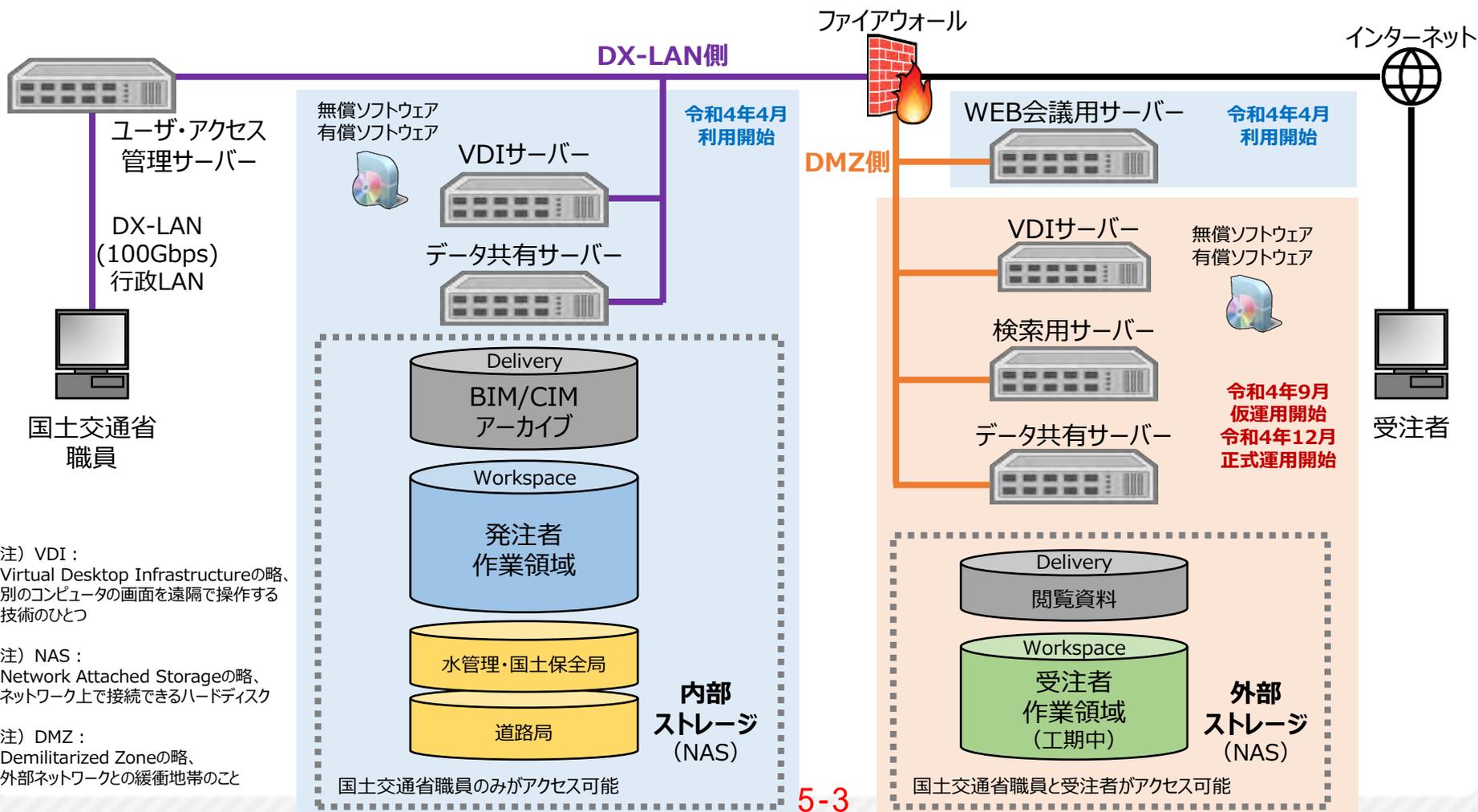
2023年3月1日版

国土技術政策総合研究所

利用ガイド（正式運用編）とは？

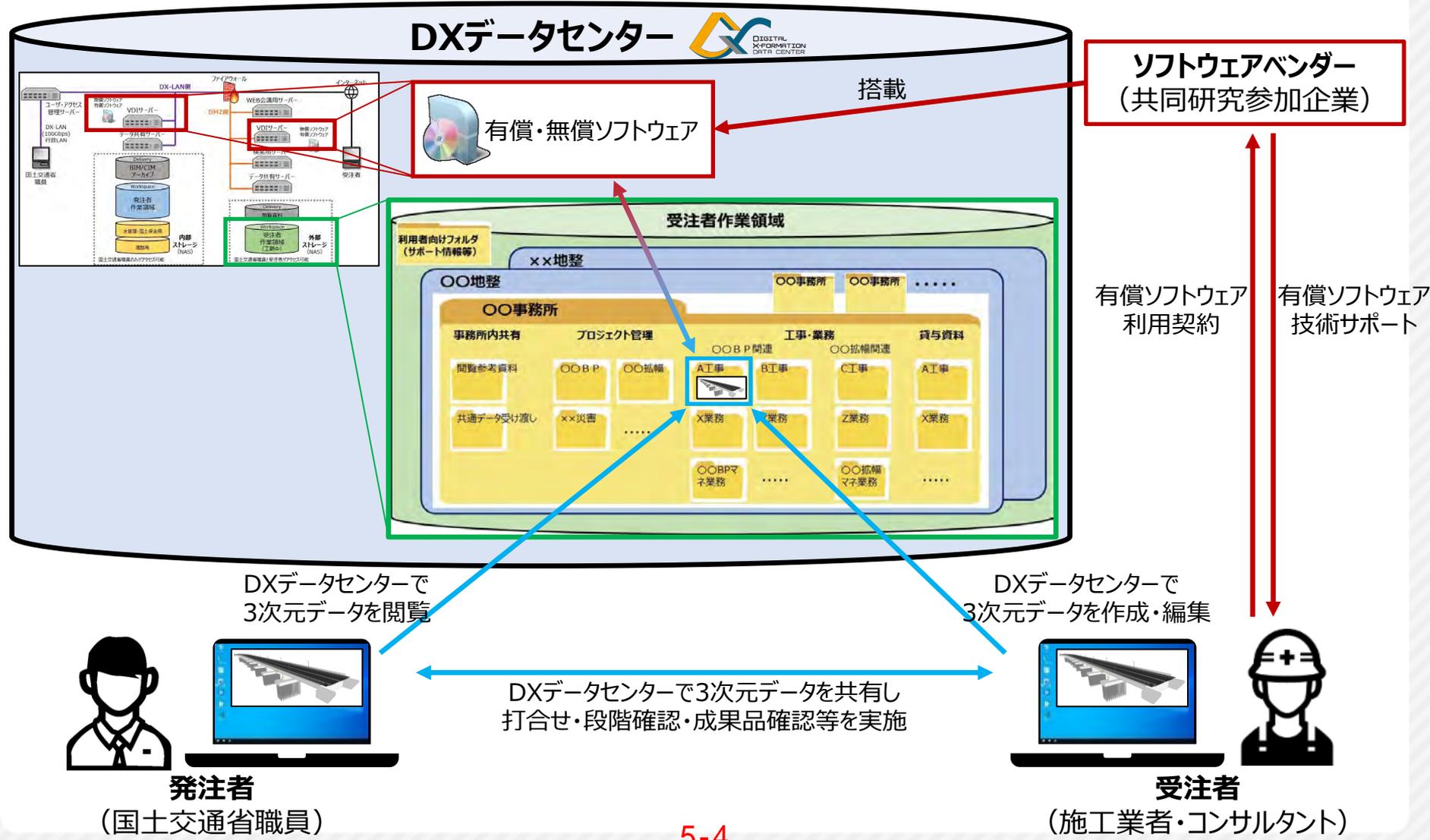
○国土交通省職員と受注者がスタートガイドで利用準備を終えた後、様々な利用シーンでDXデータセンターを利用していくために必要となる主な手順を紹介します。

○ご不明な点については、DXデータセンターヘルプデスクまで、お問い合わせください。



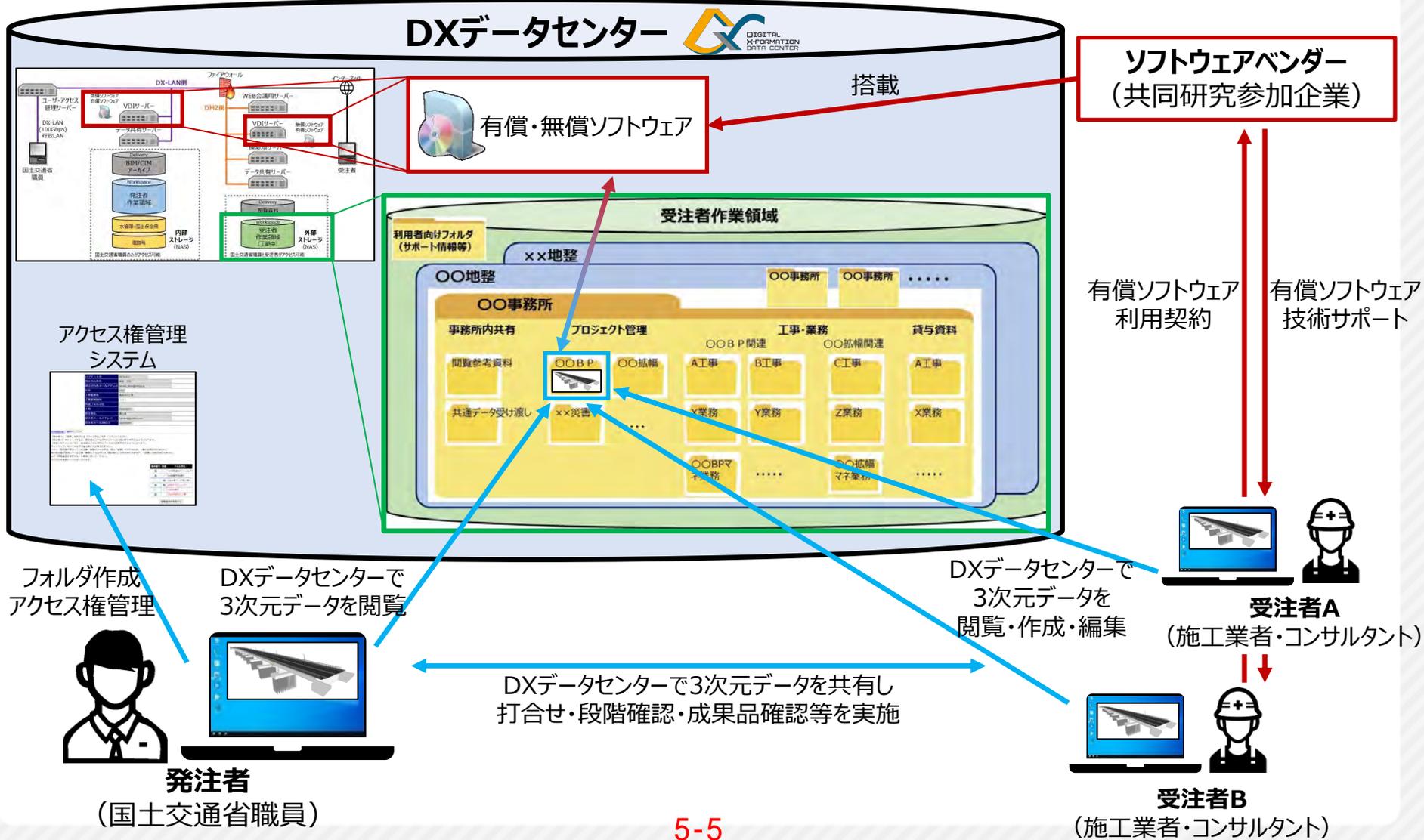
想定する利用シーン（1）（※最も基礎的な利用シーン）

○受注者がBIM/CIM等の3次元データを作成・編集し、発注者が3次元データを閲覧することにより、受発注者間で3次元データを共有する。

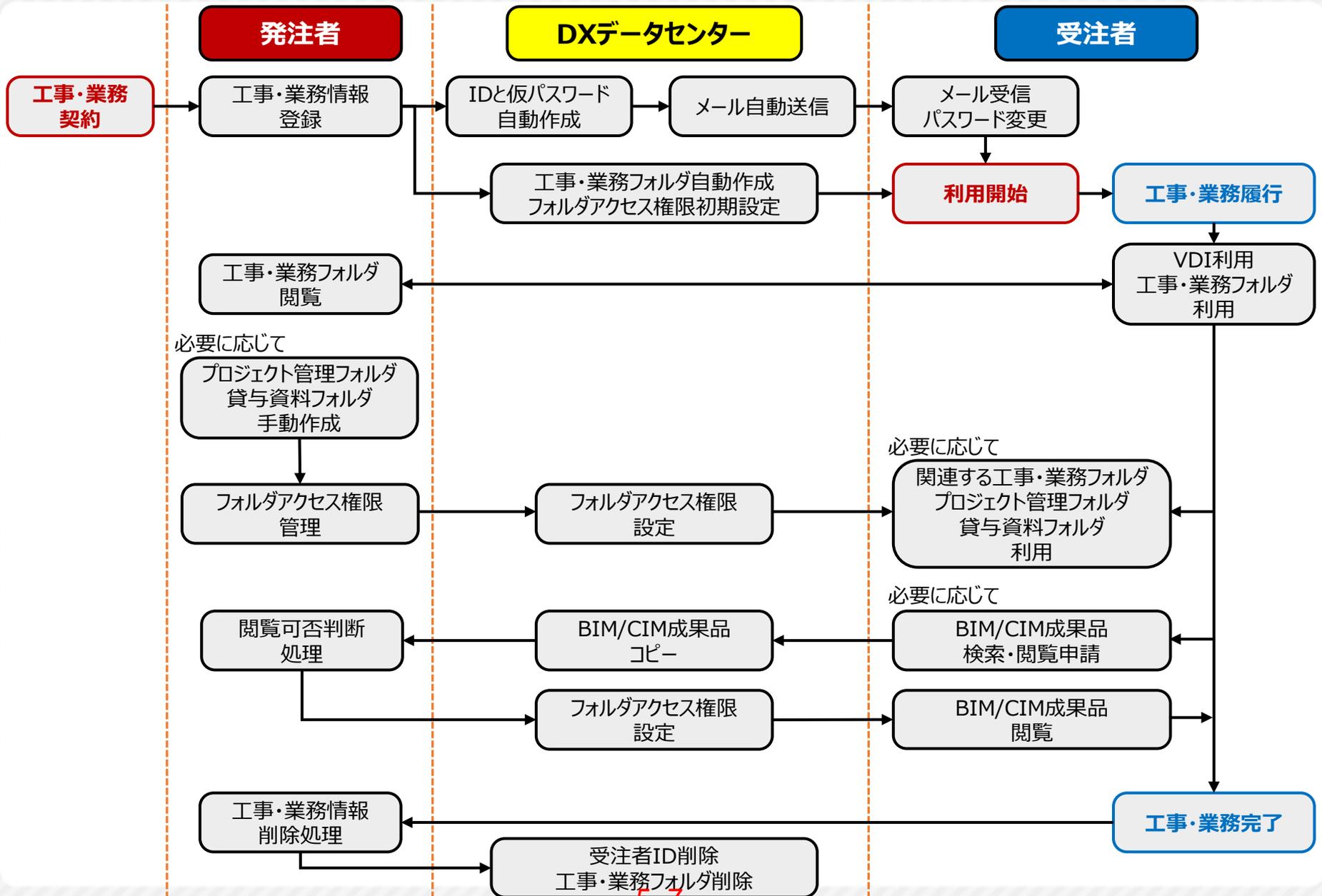


想定する利用シーン（2）（※応用的な利用シーン）

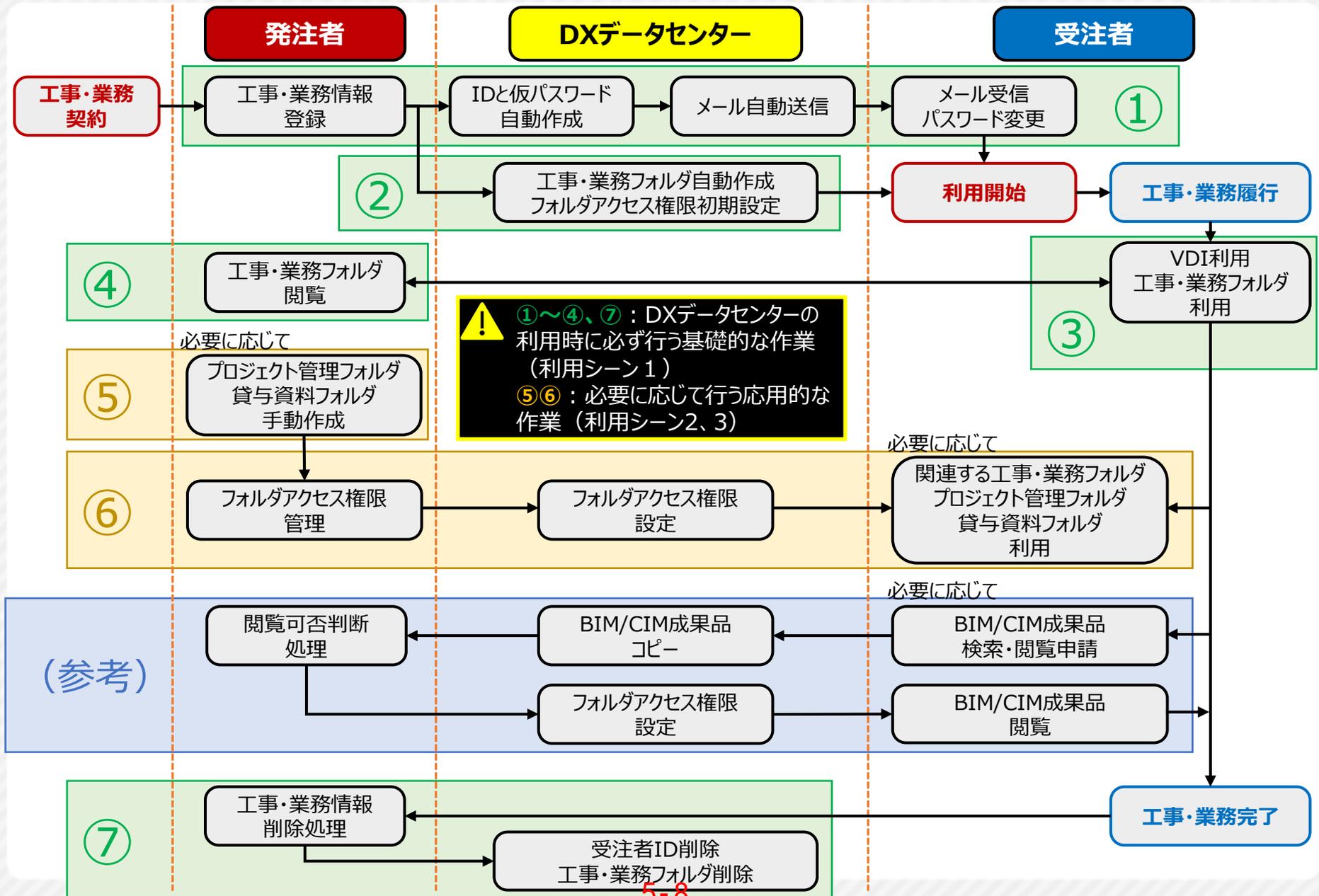
○複数の受注者がBIM/CIM等の3次元データを作成・編集し、発注者や受注者が3次元データを閲覧することにより、関係者間で3次元データを共有する。



受注者作業領域の利用の流れ



受注者作業領域の利用の流れ



① 工事・業務情報の入力からパスワードの変更まで

発注者

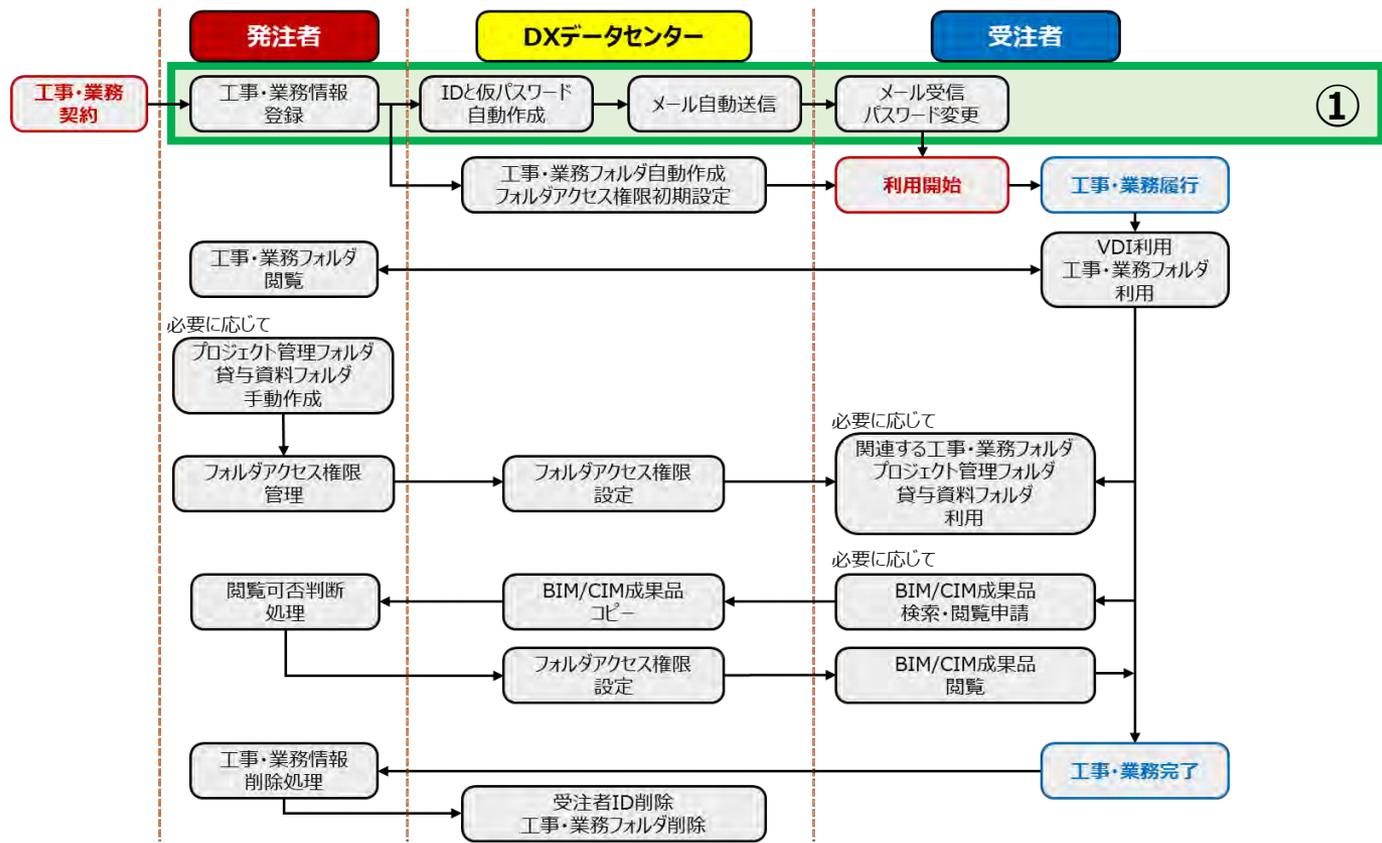


工事・業務の契約後に、工事・業務情報を登録します。

受注者



自動送信メールの発信から1週間以内に、パスワードを変更します。



工事・業務情報の入力（発注者）

○工事・業務の契約後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から工事・業務情報を登録します。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。
（※VDIへのログインは不要です）

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
（※パスワードはDMZ側専用です）

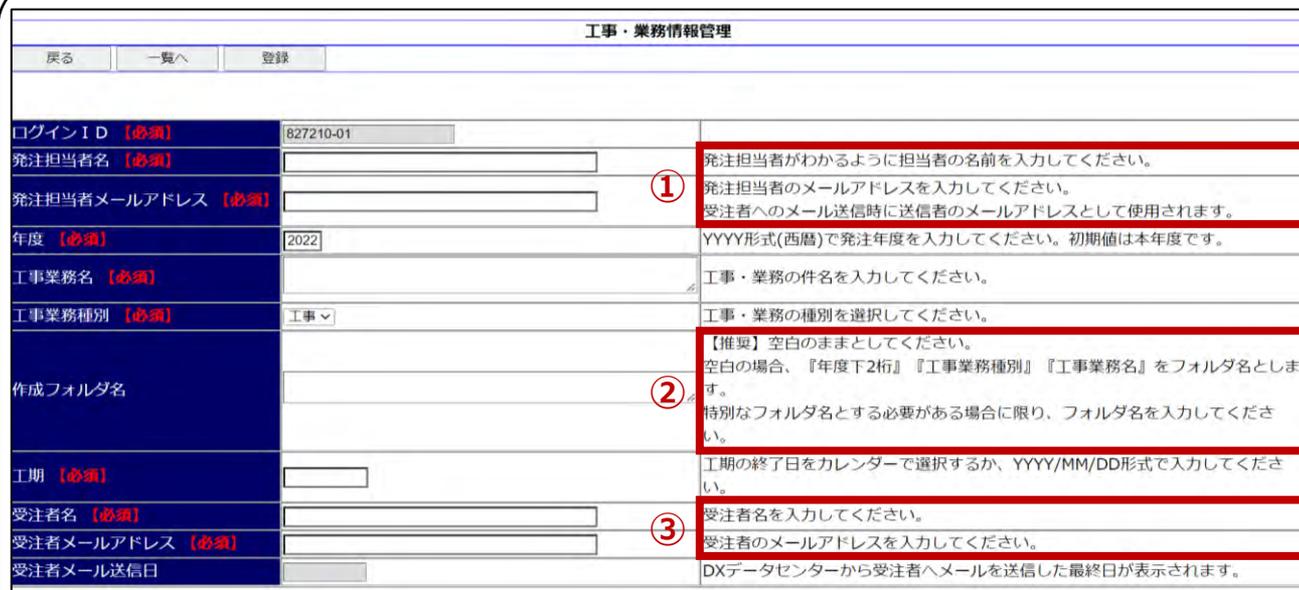


- !**
- ①について：工事・業務の事務所の担当者の情報の入力をお願いします。
 - ②について：フォルダ名が複雑になると工事・業務フォルダを見つけにくくなるため、空白とすることを推奨します。
 - ③について：受注者名とメールアドレスはID・仮パスワードの送信に使用されるため、正確に入力をお願いします。

アクセス権管理システムのメニュー



入力画面



戻る		一覧へ	登録
ログインID 【必須】	827210-01		
発注担当者名 【必須】		①	発注担当者がわかるように担当者の名前を入力してください。
発注担当者メールアドレス 【必須】		①	発注担当者のメールアドレスを入力してください。受注者へのメール送信時に送信者のメールアドレスとして使用されます。
年度 【必須】	2022		YYYY形式(西暦)で発注年度を入力してください。初期値は本年度です。
工事業務名 【必須】			工事・業務の件名を入力してください。
工事業務種別 【必須】	工事		工事・業務の種別を選択してください。
作成フォルダ名		②	【推奨】空白のままとしてください。空白の場合、『年度+2桁』『工事業務種別』『工事業務名』をフォルダ名とします。特別なフォルダ名とする必要がある場合に限り、フォルダ名を入力してください。
工期 【必須】			工期の終了日をカレンダーで選択するか、YYYY/MM/DD形式で入力してください。
受注者名 【必須】		③	受注者名を入力してください。
受注者メールアドレス 【必須】		③	受注者のメールアドレスを入力してください。
受注者メール送信日			DXデータセンターから受注者へメールを送信した最終日が表示されます。

入力後、発注担当者と受注者にIDと仮パスワードを記載した自動配信メールを送信します。

パスワードの変更（受注者）

- 工事・業務情報の登録後、DXデータセンターのIDと仮パスワード（1ユーザー分）を記載した自動配信メールを受信します。
- 自動配信メールの送信から1週間以内にパスワードを変更します。パスワードの変更を行わないと、IDを利用できなくなります。

自動配信メールの様式

#DATE#

DXデータセンターからの自動配信メールです。

『ログインIDの発行について』

#受注者名#様

DXデータセンターを利用する際の『ログインID』『仮パスワード』を発行しました。

1週間以内に以下のURLでパスワードの変更をお願いします。
パスワードの変更を行わないと使用できなくなりますのでご注意ください。

DXデータセンターポータルサイト
URL:<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym>

工事名／業務名：#工事業務名#
工期 ：#工期#

ログインID/仮パスワード
#LOGINID01# #PASS01#

※ログインID/パスワードは厳重に管理をお願いします。

! 工事・業務あたりに発行されるID・仮パスワードは、1ユーザー分です。

手元のパソコンのメールソフトのフォントによっては、仮パスワードの文字の判別が難しい場合があります（例えば、数字の「1」とアルファベットの「l」など）。メモ帳やワードに仮パスワードをコピーするなどし、文字を把握してから使用することをお勧めします。

IDと仮パスワード、変更後のパスワードについては、受注者側で適切に管理をお願いします。

受注者が自動配信メールを受信できなかった場合には、同様の自動配信メールが発注者にも送信されますので、受注者間で情報共有をお願いします。

パスワードの変更 (受注者)

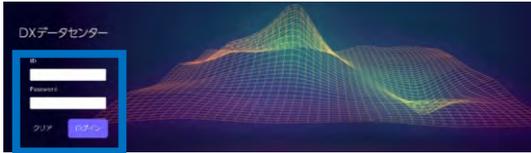
OID・仮パスワードを記載した自動配信メールの送信から**1週間以内**に、パスワードを変更します。



必ず、VDIの利用を開始する前に、DXデータセンターポータルサイトでパスワードの変更をお願いします。
パスワードの変更は、VDI経由ではなく、手元のパソコンからDXデータセンターポータルサイトにログインして行ってください。

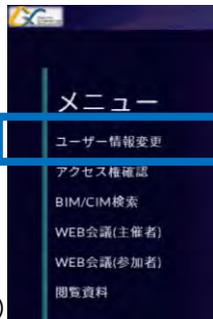
DXデータセンター ポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにログインします。



初回のログインでは、自動配信メールを参考として、IDと仮パスワードを入力します
(※仮パスワード変更後は、変更したパスワードを使用)

初回のログインでは、「ユーザー情報変更」に自動的に移動し、パスワードを変更します。
(※パスワードを再度変更する場合は、「ユーザー情報変更」を選択)



ユーザー情報変更でパスワードを変更

初回パスワード変更

ID

変更後のパスワード

変更後のパスワード(確認)

クリア 変更

■ 初回ログイン時

「変更後のパスワード」と「変更後のパスワード(確認)」を入力し、「変更」をクリックします。

ユーザー情報変更

ID

変更後のパスワード

クリア 変更

■ 2回目以降のログイン時

「変更後のパスワード」を入力し、「変更」をクリックします。

パスワードの設定ルール

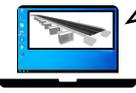
パスワードの長さ	10文字以上
パスワード複雑性の有効	次の4つのカテゴリのうち3つから文字を使用する <ul style="list-style-type: none"> ・英大文字 (A から Z) ・英小文字 (a から z) ・10進数の数字 (0 から 9) ・アルファベット以外 (!, \$, #, %など、ただし、「< (小なり)」を除く) ユーザー名に含まれる3文字以上連続した文字列を使用しない
パスワードを変更できない期間	1日 (変更から1日以上経過後に再度の変更が可能)



新しいパスワードがシステムに反映されるまでに数時間程度の時間を要する場合があります。

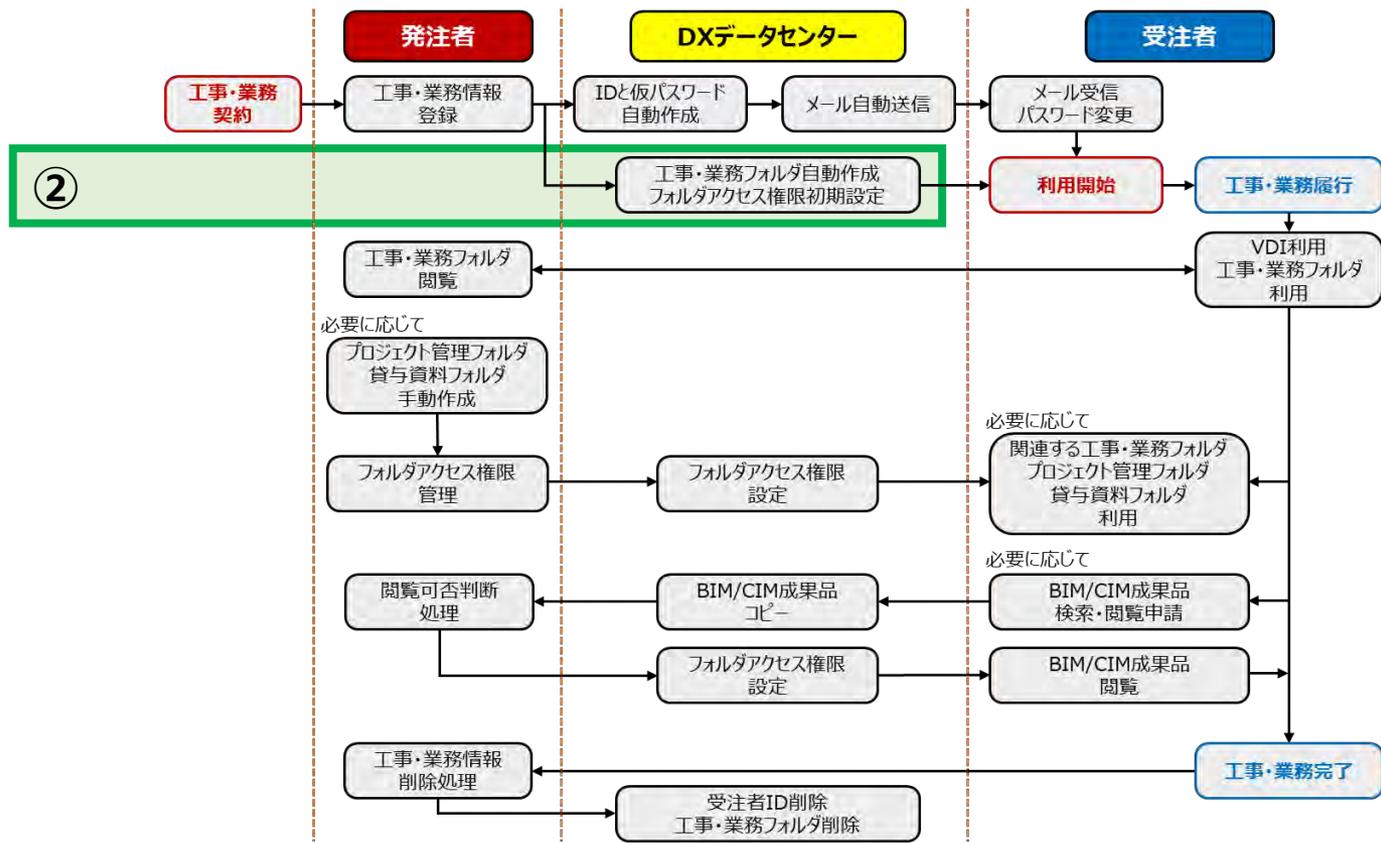
② 工事・業務フォルダ自動作成とアクセス権限初期設定

発注者

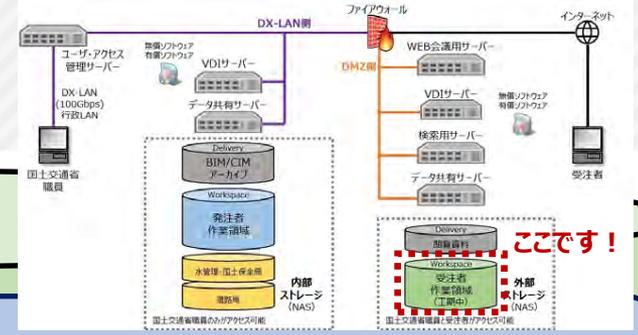


工事・業務ごとに「工事・業務フォルダ」を自動的に作成します。
利用可能なフォルダのアクセス権限を自動的に設定します。

受注者



工事・業務フォルダの位置づけ



受注者作業領域

利用者向けフォルダ
(サポート情報等)

××地整

〇〇地整

〇〇事務所

〇〇事務所

〇〇事務所

事務所内共有

プロジェクト管理

工事・業務

〇〇B P 関連

〇〇拡張関連

貸与資料

閲覧参照資料

〇〇B P

〇〇拡張

A工事

B工事

C工事

A工事

共通データ受け渡し

××災害

.....

X業務

Y業務

Z業務

X業務

〇〇BPマ
ネ業務

.....

〇〇拡張
マネ業務

.....

- ・受発注者間のデータ受け渡しに活用
- ・必要に応じ、格納ファイルにパスワードを設定

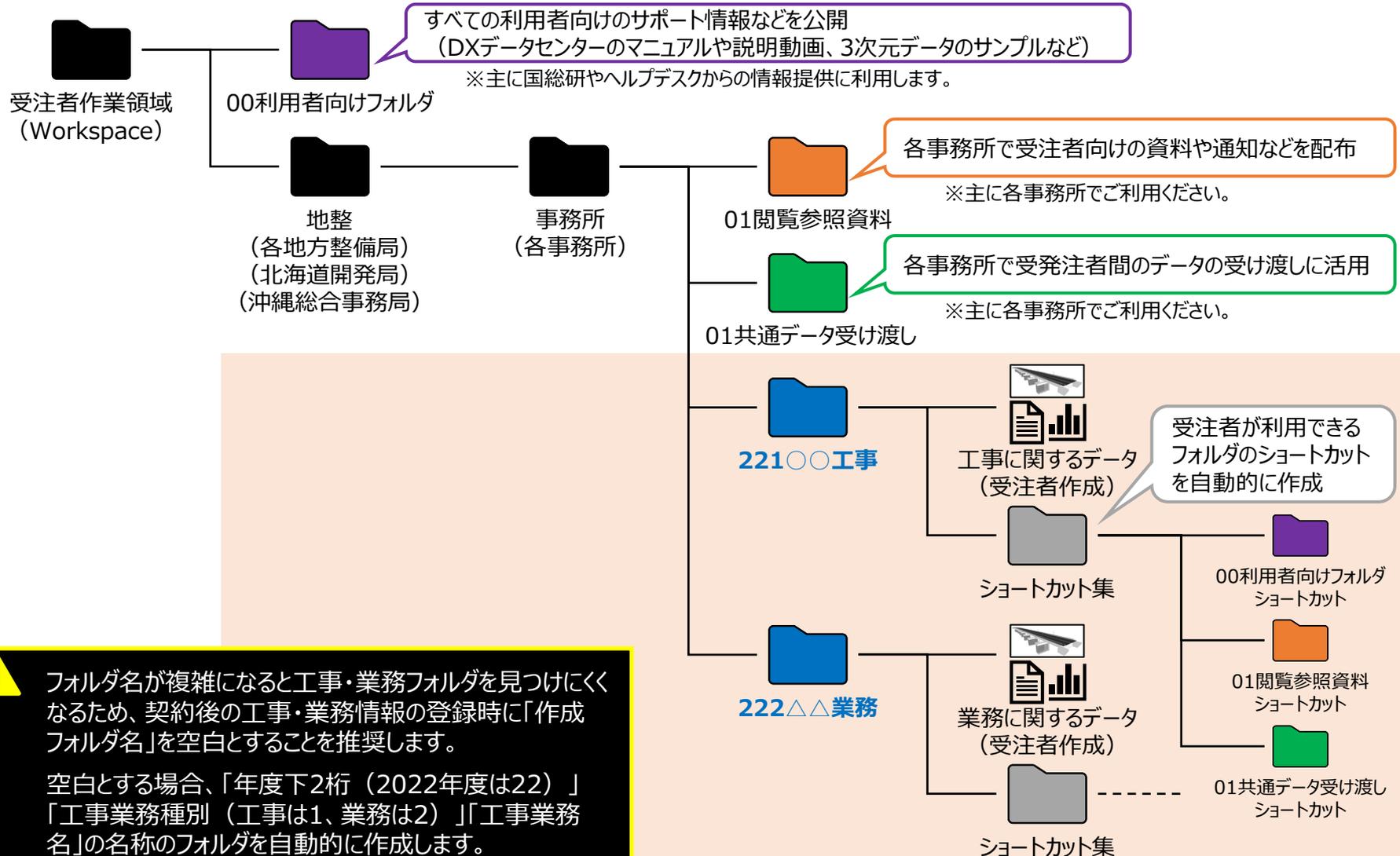
- ・発注者から受注者向けの通知や資料等を配布するために活用
- ・発注者が書き込み、受注者が閲覧可能

- ・発注者が、プロジェクト管理のためにプロジェクトごとにフォルダを手動で作成
- ・発注者が、プロジェクトに関連する工事・業務の受注者の閲覧・書き込みを許可
- ・マネジメント業務の受注者が、発注者に代わり管理可能

- ・契約後に発注者が工事・業務情報を入力し、工事・業務ごとのフォルダを自動的に作成
- ・工事・業務の受注者が、書き込み可能
- ・発注者が、関連する工事・業務の受注者の閲覧を許可

工事・業務フォルダの自動作成

○発注者が工事・業務情報を登録した後、受注者のID・仮パスワードを記載した自動配信メールの送信と同時に、「工事・業務フォルダ」と「ショートカット集」を自動的に作成します。



フォルダ名が複雑になると工事・業務フォルダを見つけにくくなるため、契約後の工事・業務情報の登録時に「作成フォルダ名」を空白とすることを推奨します。

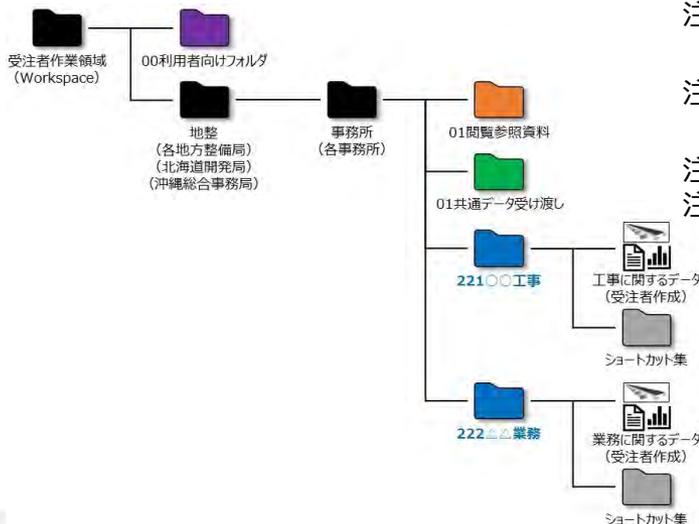
空白とする場合、「年度下2桁 (2022年度は22)」「工事業務種別 (工事は1、業務は2)」「工事業務名」の名称のフォルダを自動的に作成します。

フォルダアクセス権限の初期設定

○「工事・業務フォルダ」の作成と同時に、受注者が利用できるフォルダへのアクセス権限（読み取り／変更）の初期設定を自動的に行います。

アクセス権限の初期設定

フォルダ	アクセス権限 注1)			
	発注者 注2)		受注者	
	事務所	事務所以外	221〇〇工事 受注者	222△△業務 受注者
00利用者向けフォルダ	変更	変更	読み取り	読み取り
01閲覧参照資料		なし	変更	変更
01共通データ受け渡し				
221〇〇工事	読み取り	なし	変更	なし 注3)
－ショートカット集	－ 注4)	－ 注4)	読み取り	なし
222△△業務	読み取り	なし	なし 注3)	変更
－ショートカット集	－ 注4)	－ 注4)	なし	読み取り



注1) **読み取り**：フォルダ内のデータの閲覧などが可能

変更：フォルダ内のデータの閲覧に加えて、データの作成や変更などが可能

注2) **事務所**：工事・業務を発注した事務所のすべての職員

事務所以外：工事・業務を発注した事務所以外の職員（本省・地整・他事務所など）

注3) 発注者が必要に応じて追加的に許可した場合に限り、「読み取り」が可能

注4) 発注者からはショートカット集の利用は不可能



発注者は、自身が所属する事務所の発注案件の「工事・業務フォルダ」の読み取りが可能です。他の事務所の発注案件の「工事・業務フォルダ」の読み取りは不可能です。

受注者は、自身の受注案件の「工事・業務フォルダ」の変更が可能です。ただし、発注者が必要に応じて追加的に許可した場合に限り、他の受注者の「工事・業務フォルダ」の読み取りが可能になります。

③ VDIと工事・業務フォルダの利用

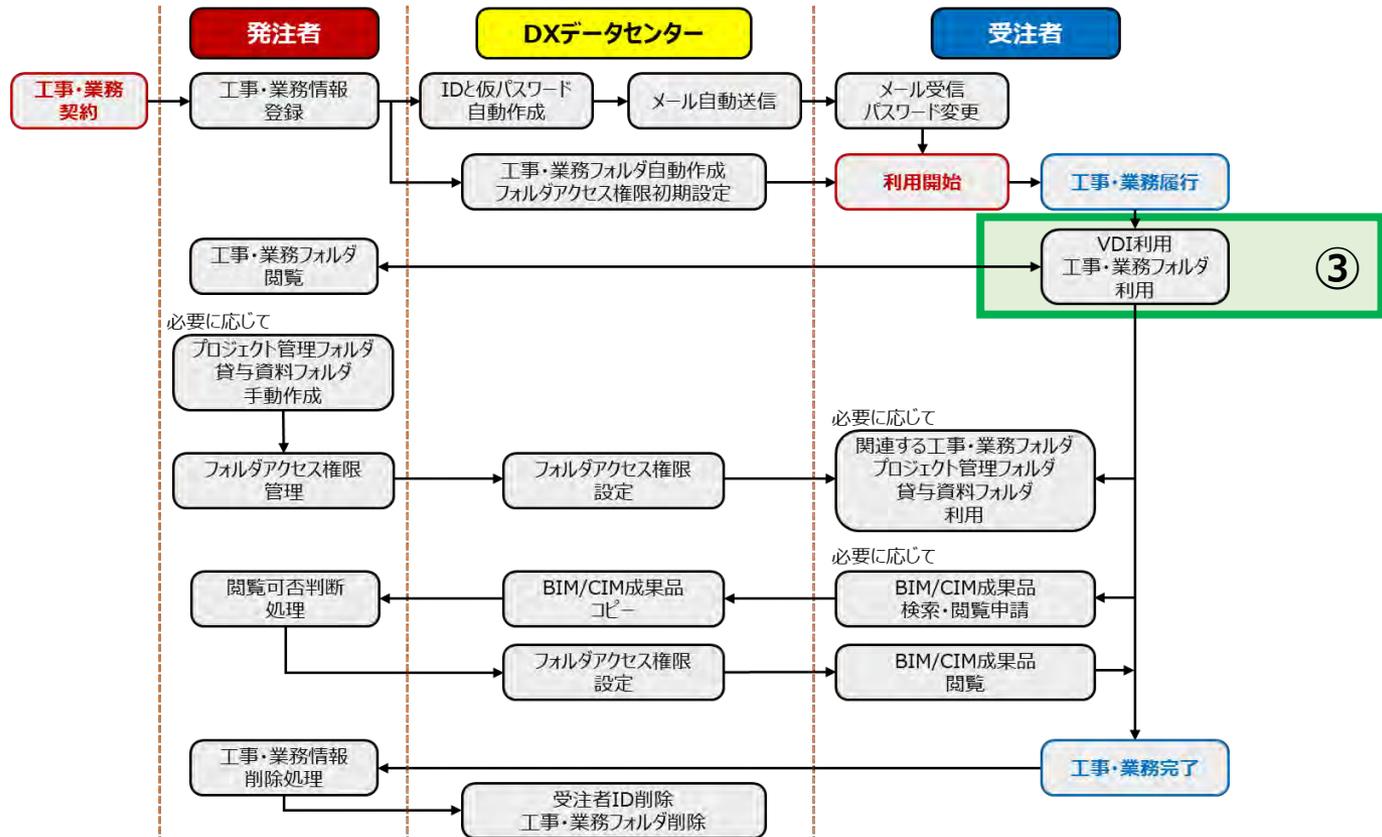
発注者



受注者



VDIを利用し、BIM/CIM等の3次元データの閲覧、作成、編集などを行います。
 工事・業務フォルダを利用し、発注者との情報共有などを行います。



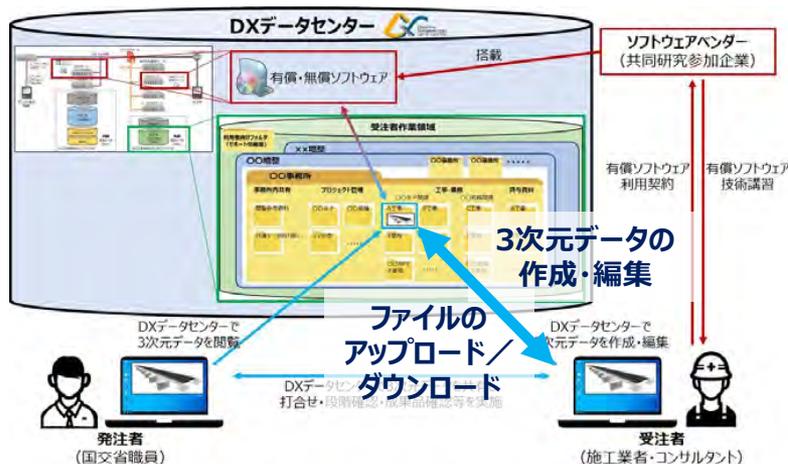
VDIと工事・業務フォルダの利用（受注者）

○VDIを利用し、BIM/CIM等の3次元データの閲覧、作成、編集などを行います。

○工事・業務フォルダを利用し、作業ファイルの保存、受発注者間での共有などを行います。

VDIと工事・業務フォルダの利用目的と方法

利用目的		方法
VDI	・3次元データの閲覧	・VDIにログインし、DXデータセンター搭載の 無償ソフトウェア を利用
	・3次元データの作成・編集	・VDIにログインし、DXデータセンター搭載の 有償ソフトウェア を利用 （※有償ソフトウェアの利用契約が別途必要）
工事・業務フォルダ	・作業ファイルの保存 ・作業ファイルの受発注者間での共有	・VDIにログインし、3次元データを作成・編集して「工事・業務フォルダ」に保存
		・VDIにログインし、 フォルダリダイレクト機能 により、「手元のパソコン」と「工事・業務フォルダ」の間でファイルをアップロード／ダウンロードして保存
		・ FTPクライアント により、「手元のパソコン」と「工事・業務フォルダ」の間でファイルをアップロード／ダウンロードして保存（※VDIへのログインは不要）



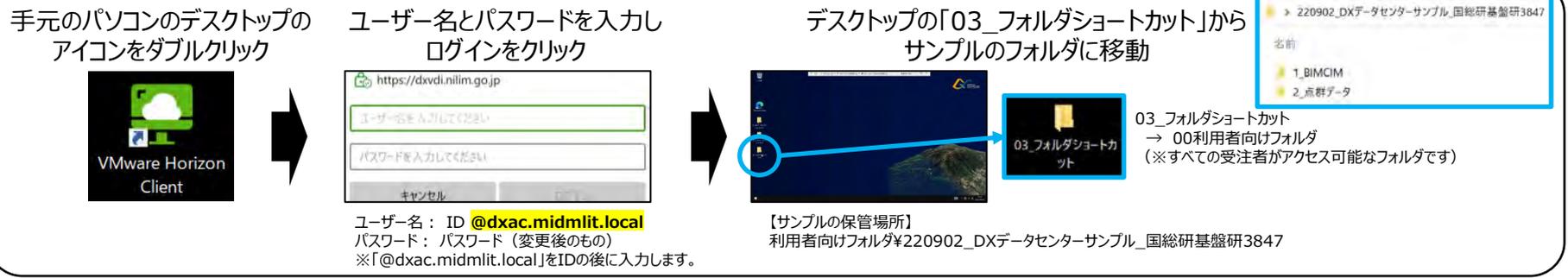
受注者が、手元のパソコンに搭載された有償ソフトウェアで3次元データを作成・編集する場合も、フォルダリダイレクト機能やFTPクライアントを利用することにより、工事・業務フォルダにファイルをアップロード／ダウンロードし、受発注者間で共有することが可能です。

同時に使用できるVDIのアカウント数に上限があるため、ファイルのアップロード／ダウンロードのみを行う場合には、FTPクライアントの利用を推奨します。

BIM/CIM等の3次元データの閲覧 (受注者)

○無償ソフトウェアを利用し、BIM/CIM等の3次元データを閲覧します。
 (3次元データの閲覧方法の例として、DXデータセンターのサンプルの閲覧方法を紹介します)

VDIにログインし、3次元データのサンプルのフォルダに移動



3次元データの閲覧

VDIに搭載されている無償ソフトウェアを使用して3次元データを閲覧
 サンプルとして「利用者向けフォルダ」の3次元データの閲覧が可能

【サンプルの保管場所】
 利用者向けフォルダ¥220902_DXデータセンター-サンプル_国総研基盤研3847



BIM/CIM

「1_BIM/CIM」フォルダのファイルをダブルクリックします。
 IFC形式のBIM/CIMを閲覧できます。
 ただし、ダブルクリックでファイルを開けない場合は、プログラムから開いてください。



点群データ

「2_点群データ」フォルダのファイルを右クリックし、「プログラムから開く」から「このPCのアプリで開く」、「このPCで別のアプリを探す」を選択し、「CloudCompare」フォルダの「CloudCompare」を選択します。
 点群データを閲覧できます。

無償ソフトウェアの一覧

ソフトウェア名			
BIM/CIM 関連	BIMvision	V-nas 3DViewer (川田テクノシステム)	CloudCompare
	Autodesk Viewer	UC-1 BIM/CIMツール (Viewer版) (フォーラムエイト)	3D Point Studio
	DWG TrueView		
	Navisworks Freedom		
	Recap		
河川 3D管内図 関連	Revit Viewer	TREND-CORE CIMビューア Free版 (福井コンピュータ)	Libre Office
	SXF Viewer (オートデスク)		
	TerraExplorer	TS出来形検査ツール (福井コンピュータ)	ArcGIS Earth (ESRIジャパン)
	α-Flumen-Estrada3D (アジア航測)	FZK Viewer	QGIS

※IFC形式のBIM/CIMはBIMvision、PDFはMicrosoft Edgeで閲覧できます。
 ※有償版の機能を利用するためには、有償ソフトウェアの利用契約手続きを行う必要があります。

! 無償ソフトウェアの利用にあたり、利用契約は不要です。サンプル以外のデータの閲覧も可能です。ただし、利用できる無償ソフトウェアの種類は、国交省職員と受注者で異なります。

BIM/CIM等の3次元データの作成・編集 (受注者)

○有償ソフトウェアを利用し、BIM/CIM等の3次元データを作成・編集します。

(有償ソフトウェアの利用契約の詳細については、各ソフトウェア提供社に個別にお問い合わせください)

VDIにログインし、有償ソフトウェアのショートカットを保管しているフォルダに移動

手元のパソコンのデスクトップのアイコンをダブルクリック



ユーザー名とパスワードを入力しログインをクリック



ユーザー名： ID @dxac.midmlit.local
パスワード： パスワード (変更後のもの)
※「@dxac.midmlit.local」をIDの後に入力します。



デスクトップの「04_有償アプリケーションショートカット」から利用する有償ソフトウェアを起動



会社名のフォルダに有償ソフトウェアのショートカットを保管



- 01_オートデスク
- 02_川田テクノシステム
- 03_フォーラムエイト
- 04_福井コンピュータ
- 05_ESRIジャパン
- 06_アイサンテクノロジー
- 07_三英技研

3次元データの作成・編集

VDIに搭載されている有償ソフトウェアを使用して3次元データを作成・編集

有償ソフトウェアの一覧

会社名	ソフトウェア名
オートデスク	AUTODESK AEC COLLECTION
川田テクノシステム	V-nasClair
フォーラムエイト	UC-1 BIM/CIMツール
福井コンピュータ	TREND-CORE
ESRIジャパン	ArcGIS Pro
アイサンテクノロジー	WingEarth
三英技研	STRAXcube



有償ソフトウェアを利用するためには、利用契約を行う必要があります。ただし、他で購入済みのライセンスをDXデータセンターで使用できるソフトウェアもあります。有償ソフトウェアの特徴、ライセンス、利用料金、契約方法等については、DXデータセンターポータルサイトの「閲覧資料」の「有償ソフトウェア一覧」をご参照ください。

利用契約の詳細については、有償ソフトウェアの問い合わせ先にご連絡をお願いします。有償ソフトウェアの種類は、今後、追加・変更される可能性があります。有償ソフトウェアの問い合わせ先や搭載状況については、DXデータセンターポータルサイトの「閲覧資料」の「有償ソフトウェア利用方法」をご参照ください。

工事・業務フォルダの利用 (受注者) (※フォルダリダイレクト機能)

○VDIで作成・編集したファイルを「工事・業務フォルダ」に保存します。

○VDIの**フォルダリダイレクト機能**を利用し、「手元のパソコン」から「工事・業務フォルダ」にファイルをアップロードして保存します。逆に、「工事・業務フォルダ」から「手元のパソコン」にファイルをダウンロードします。

工事・業務フォルダの利用

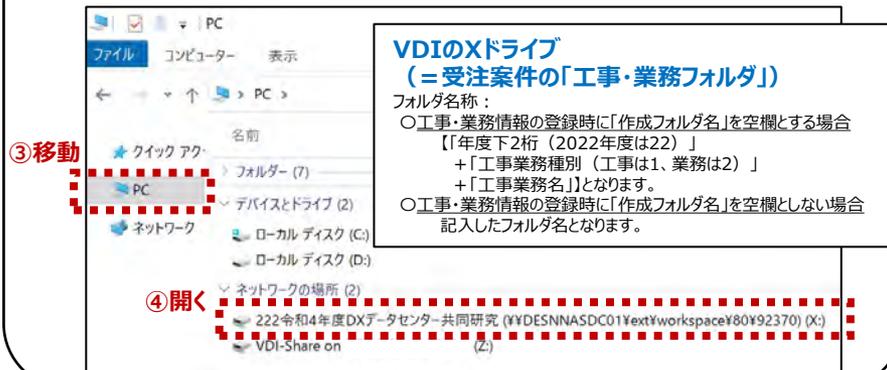
【工事・業務フォルダにファイルを保存する場合】

- ・VDIにログインした後、デスクトップ左下のWindowsロゴを右クリックし、エクスプローラーを選択して起動



- ・「PC」に移動し、「Xドライブ」を開くと、受注者自身の受注案件の「工事・業務フォルダ」を開くことが可能

- ・「工事・業務フォルダ」にファイルを保存することが可能



VDIのフォルダリダイレクト機能の利用

【工事・業務フォルダにファイルをアップロードする場合】

- ・工事・業務フォルダにアップロードするファイルを手元のパソコンのCドライブの「VDI-Share」フォルダに手でコピー
- ・コピーしたファイルがVDIのZドライブに自動転送
- ・VDIでエクスプローラーを起動し、Xドライブを開き、受注案件の「工事・業務フォルダ」を開く
- ・VDIで別ウィンドウのエクスプローラーを起動し、Zドライブを開き、ZドライブからXドライブへファイルを手動でコピーすると、「工事・業務フォルダ」にファイルのアップロードが可能

手元のパソコンのCドライブのVDI-Shareフォルダ



フォルダリダイレクト機能の設定方法の詳細は次ページをご参照ください。

② 自動転送



③ VDIで開く



VDIのZドライブ

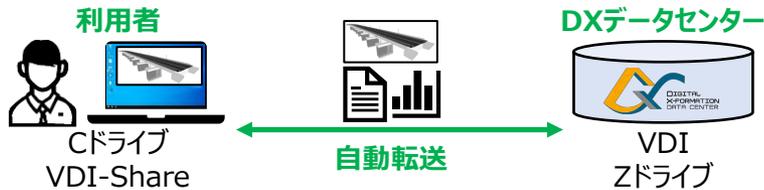
VDIのXドライブ (=受注案件の「工事・業務フォルダ」)

【工事・業務フォルダからファイルをダウンロードする場合】

- ・アップロードの場合と逆の操作手順でダウンロードが可能

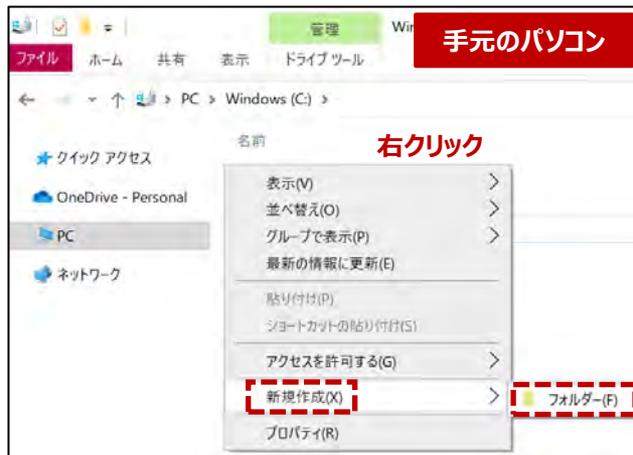
【参考】フォルダリダイレクト機能の設定方法

○**フォルダリダイレクト機能**：「手元のパソコン」と「DXデータセンターのVDI」との間でファイルの送受信を行う機能です。この機能を利用することにより、手元のパソコンのファイルをDXデータセンターにアップロード、または、DXデータセンターのファイルを手元のパソコンにダウンロードできます。



手元のパソコンのCドライブに
VDI-Shareフォルダを作成

- ・手元のパソコンのエクスプローラーを起動し、Cドライブを開く
- ・エクスプローラー上で右クリック、新規作成、フォルダを選択



- ・フォルダ名を「VDI-Share」に変更



VDIへのログイン、Zドライブの確認

- ・VDIにログインし、エクスプローラーを起動し、Zドライブが作成されていることを確認
- ・Zドライブの表示名は、「VDI-Share on <手元のパソコンの名称>」あるいは、「ネットワークドライブ (Z:)」



フォルダリダイレクト機能の利用

- ・「手元のパソコン」と「DXデータセンターのVDI」の間でファイルを自動的にアップロード／ダウンロードすることが可能

手元のパソコンのCドライブのVDI-Shareフォルダ



VDIのZドライブ



自動転送



フォルダリダイレクト機能の設定方法の詳細については、「DXデータセンターのVDI設定マニュアル（国土交通省職員用、受注者用）」をご参照ください。

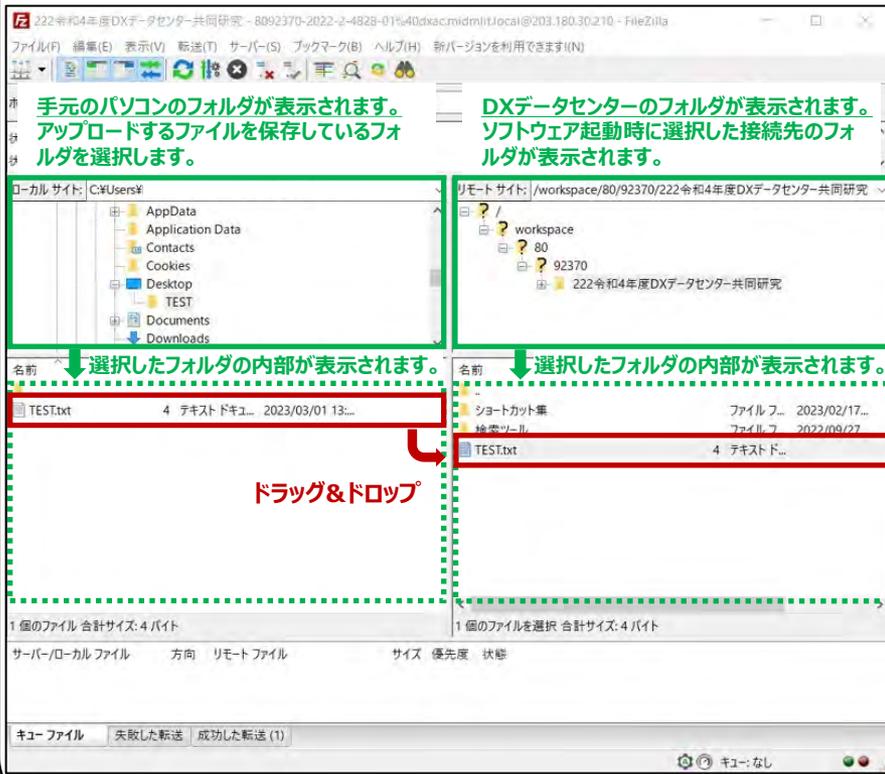
工事・業務フォルダの利用 (受注者) (※FTPクライアント)

○**FTPクライアント**を利用し、「手元のパソコン」から「工事・業務フォルダ」にファイルをアップロードして保存します。逆に、「工事・業務フォルダ」から「手元のパソコン」にファイルをダウンロードします。

(プロジェクト管理フォルダなど他のアクセス権を付与されたフォルダにもアップロード／ダウンロードできます)
(FTPクライアントを利用するための初期設定については、次ページを参照ください)

手元のパソコンから工事・業務フォルダへのアップロード

- ・左側のパネルから右側のパネルにドラッグ＆ドロップすることにより、手元のパソコンから工事・業務フォルダへのアップロードが可能



このスクリーンショットは、FileZillaのインターフェースを示しています。左側のパネルはローカルサイト（C:\Users\%）を表示し、右側のパネルはリモートサイト（/workspace/80/92370/222令和4年度DXデータセンター共同研究）を表示しています。ローカルサイトの「TEST」フォルダが選択されており、その中の「TEST.txt」ファイルが右側のリモートサイトの「workspace」フォルダにドラッグ＆ドロップされています。赤い矢印と「ドラッグ＆ドロップ」というテキストが、この操作を示しています。

手元のパソコンのフォルダが表示されます。アップロードするファイルを保存しているフォルダを選択します。

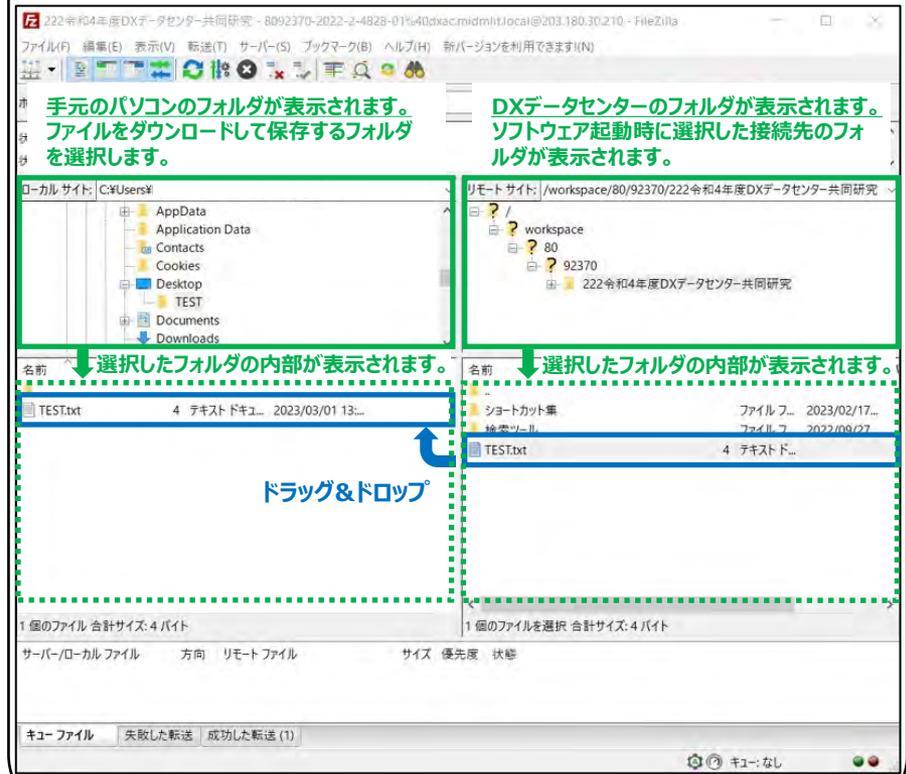
DXデータセンターのフォルダが表示されます。ソフトウェア起動時に選択した接続先のフォルダが表示されます。

選択したフォルダの内部が表示されます。

ドラッグ＆ドロップ

工事・業務フォルダから手元のパソコンへのダウンロード

- ・右側のパネルから左側のパネルにドラッグ＆ドロップすることにより、工事・業務フォルダから手元のパソコンへのダウンロードが可能



このスクリーンショットは、FileZillaのインターフェースを示しています。左側のパネルはローカルサイト（C:\Users\%）を表示し、右側のパネルはリモートサイト（/workspace/80/92370/222令和4年度DXデータセンター共同研究）を表示しています。リモートサイトの「workspace」フォルダが選択されており、その中の「TEST.txt」ファイルが左側のローカルサイトの「TEST」フォルダにドラッグ＆ドロップされています。青い矢印と「ドラッグ＆ドロップ」というテキストが、この操作を示しています。

手元のパソコンのフォルダが表示されます。ファイルをダウンロードして保存するフォルダを選択します。

DXデータセンターのフォルダが表示されます。ソフトウェア起動時に選択した接続先のフォルダが表示されます。

選択したフォルダの内部が表示されます。

ドラッグ＆ドロップ

【参考】FTPクライアントの設定方法（受注者）

- FTPクライアント**を利用するためには、ソフトウェア（FileZilla）を手元のパソコンにインストールし、DXデータセンターポータルサイトから利用可能なフォルダのリスト（FTPリスト）を取得する必要があります。
- FileZillaを起動した後、FTPリストをインポートし、サイトマネージャーでパスワードを入力することにより、DXデータセンターのフォルダに接続し、ファイルをアップロード／ダウンロードできます。

FileZillaのインストール

- ・手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、アドレスバーにURLを入力します。
https://ja.osdn.net/projects/filezilla/
- ・ダウンロードパッケージ一覧から、FileZilla_3.38.1_win32-setup.exeをダウンロードし、インストールします。
(※本バージョンでシステム動作確認を行っているため、本バージョンをご使用ください。64bitのOSでも32bit版の本バージョンをご使用ください。)



ダウンロード



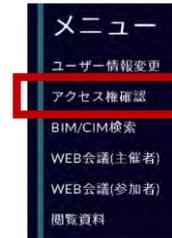
FTPクライアントの利用方法の詳細については、「DXデータセンターのFTPクライアントの設定マニュアル」を参照ください。

利用可能なフォルダのリスト（FTPリスト）の取得

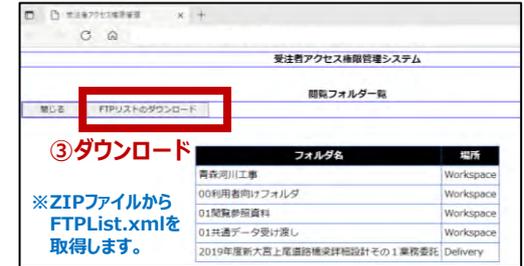
- ・手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、DXデータセンターポータルサイトにログインします。
- ・「アクセス権確認」を選択し、「FTPリストのダウンロード」をクリックします。
- ・「FTPリスト.zip」をダウンロードして解凍し、「FTPList.xml」を取得します。



① ログイン



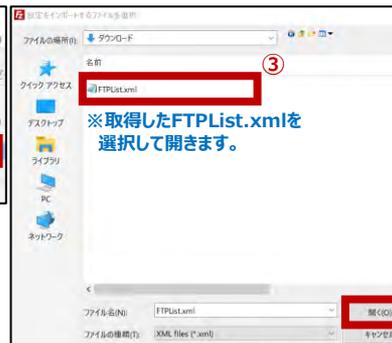
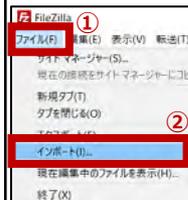
② 選択



③ダウンロード
※ZIPファイルからFTPList.xmlを取得します。

FTPリストのインポート、サイトマネージャーからフォルダへの接続

- ・手元のパソコンでFileZillaを起動します。
- ・FTPリストをインポートします。
ファイルからインポートを選択し、取得した「FTPList.xml」を開きます。
- ・サイトマネージャーからフォルダに接続します。
ファイルからサイトマネージャーを選択し、接続するフォルダを選択し、パスワードを入力し、DXデータセンターのフォルダに接続します。



5-24



⑥フォルダ一覧から接続するフォルダを選択します。

⑦パスワード以外の入力は不要です。
※接続するフォルダごとにパスワードの入力が必要です。

⑧接続(C)

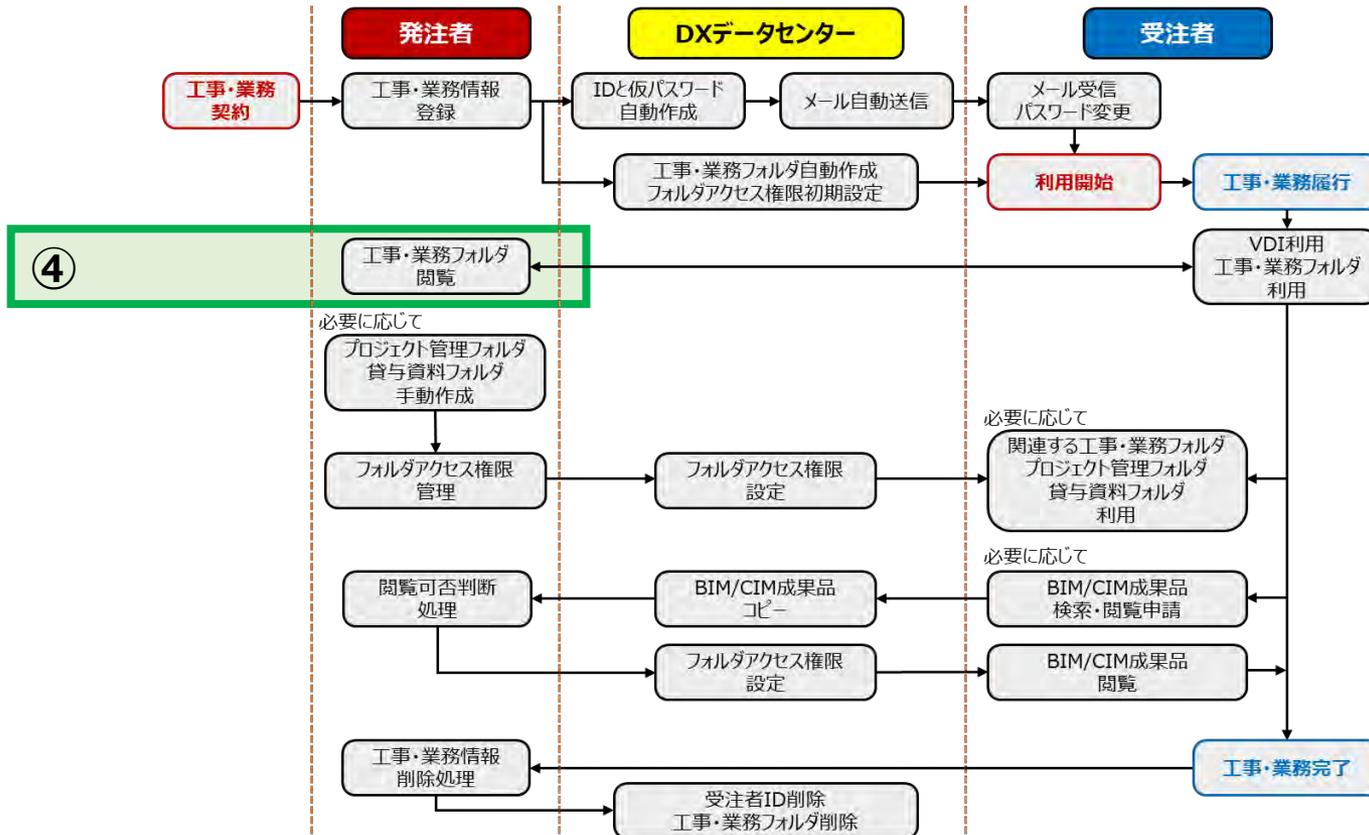
④ 工事・業務フォルダの閲覧 (発注者)

発注者



工事・業務フォルダのファイルを閲覧します。
VDIを利用し、受注者が作成した3次元データを閲覧します。

受注者

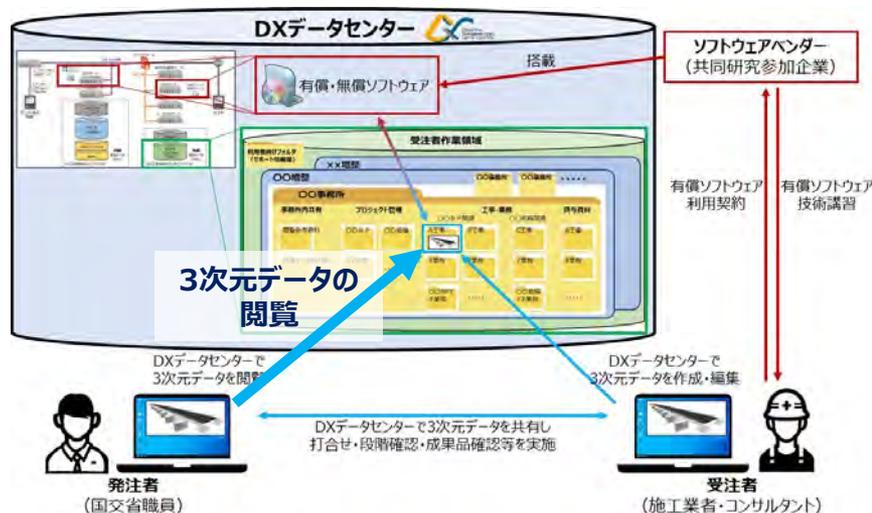


工事・業務フォルダの閲覧 (発注者)

- 所属する事務所の「工事・業務フォルダ」のファイルを閲覧します。
- 工事・業務フォルダに3次元データが保存されている場合、VDIを利用して閲覧します。

工事・業務フォルダの利用目的と方法

利用目的	方法
工事・業務フォルダのファイルの閲覧	<ul style="list-style-type: none"> ・エクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」を開き、受注者が保存したファイルを閲覧
工事・業務フォルダの3次元データの閲覧 (VDIを利用して閲覧する場合)	<ul style="list-style-type: none"> ・VDIにログインし、エクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」を開き、受注者が保存した3次元データを閲覧 (※手元の高性能パソコンを利用する場合など、DXデータセンターのソフトウェアを利用しない場合には、VDIにログインせず、エクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」を開いて3次元データの閲覧が可能)



! 発注者が「工事・業務フォルダ」にアクセスする際、受注者とは異なり、エクスプローラー経由でアクセスできます。
(VDIのフォルダリダイレクト機能やFTPクライアントを利用する必要はありません)

ただし、発注者は「工事・業務フォルダ」のファイルの閲覧のみできるため（書き込みはできないため）、編集を行う場合には発注者作業領域や手元のパソコンにファイルをコピーして作業を行う必要があります。

発注者がアクセスできる工事・業務フォルダは、所属先の事務所の発注案件の工事・業務のもののみです（他事務所の発注案件は不可）。

工事・業務フォルダの閲覧 (発注者) (※エクスプローラー経由)

○エクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」に移動し、保存されたファイルを閲覧します。

エクスプローラーを起動し アドレスを入力

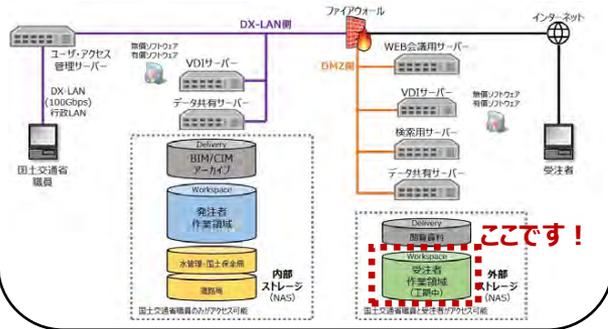
手元のパソコンでエクスプローラを起動する
受注者作業領域のアドレスを入力する



ネットワークアドレスには
スタートガイド (国土交通省職員用)
16ページ右表の受注者作業領域のものを入力

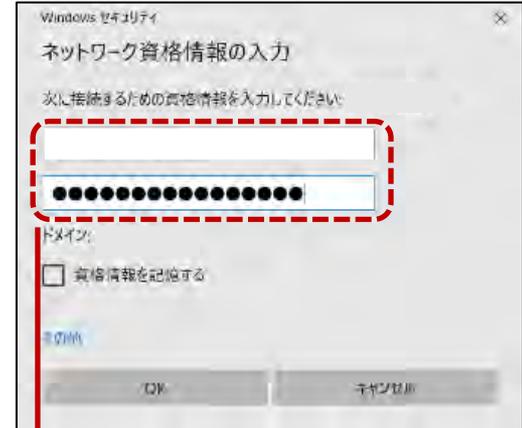
各組織フォルダ番号

- | | |
|---|------------|
| 80 国土交通本省、
国土技術政策総合
研究所、
国土地理院 | 84 北陸地方整備局 |
| 81 北海道開発局 | 85 中部地方整備局 |
| 82 東北地方整備局 | 86 近畿地方整備局 |
| 83 関東地方整備局 | 87 中国地方整備局 |
| | 88 四国地方整備局 |
| | 89 九州地方整備局 |
| | 90 沖縄総合事務局 |



ID・パスワードの入力

ID・パスワード (DMZ側専用) を入力する



【IDの入力時に、ご注意ください】
「dxac¥」をIDの前に入力します。

例) ID: dxac¥ ID
パスワード: パスワード (DMZ側専用)

工事・業務フォルダに移動し ファイルを閲覧

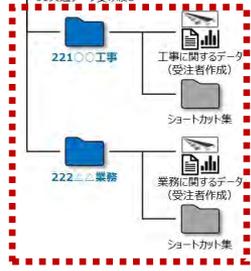
地整フォルダ (関東地整の一部を例示)

- 名前
- 210
- 220
- 310
- 350
- 410
- 470
- 510
- 610
- 620
- 7011
- 7012
- 7110
- 7120
- 7130
- 7140

※番号は、各部・各事務所の
内線番号から作成しています。

地整本局の各部のフォルダ

地整内の事務所のフォルダ



! エクスプローラー経由で受注者作業領域にアクセスできない場合は、「スタートガイド (国土交通省職員編)」を参考に、受注者作業領域のWindows資格情報を登録してください。あるいは、VDI経由でのアクセスをお試しください。

発注者は、所属する「地整本局の各部」あるいは「事務所」のフォルダを閲覧できます。「地整本局の各部」と「事務所」の番号の一覧表を「利用者向けフォルダ」に保存していますのでご参照ください。

例) 関東地整 (83) 荒川調整池工事事務所 (7360) のフォルダ:
¥¥ネットワークアドレス¥ext¥workspace¥83¥7360

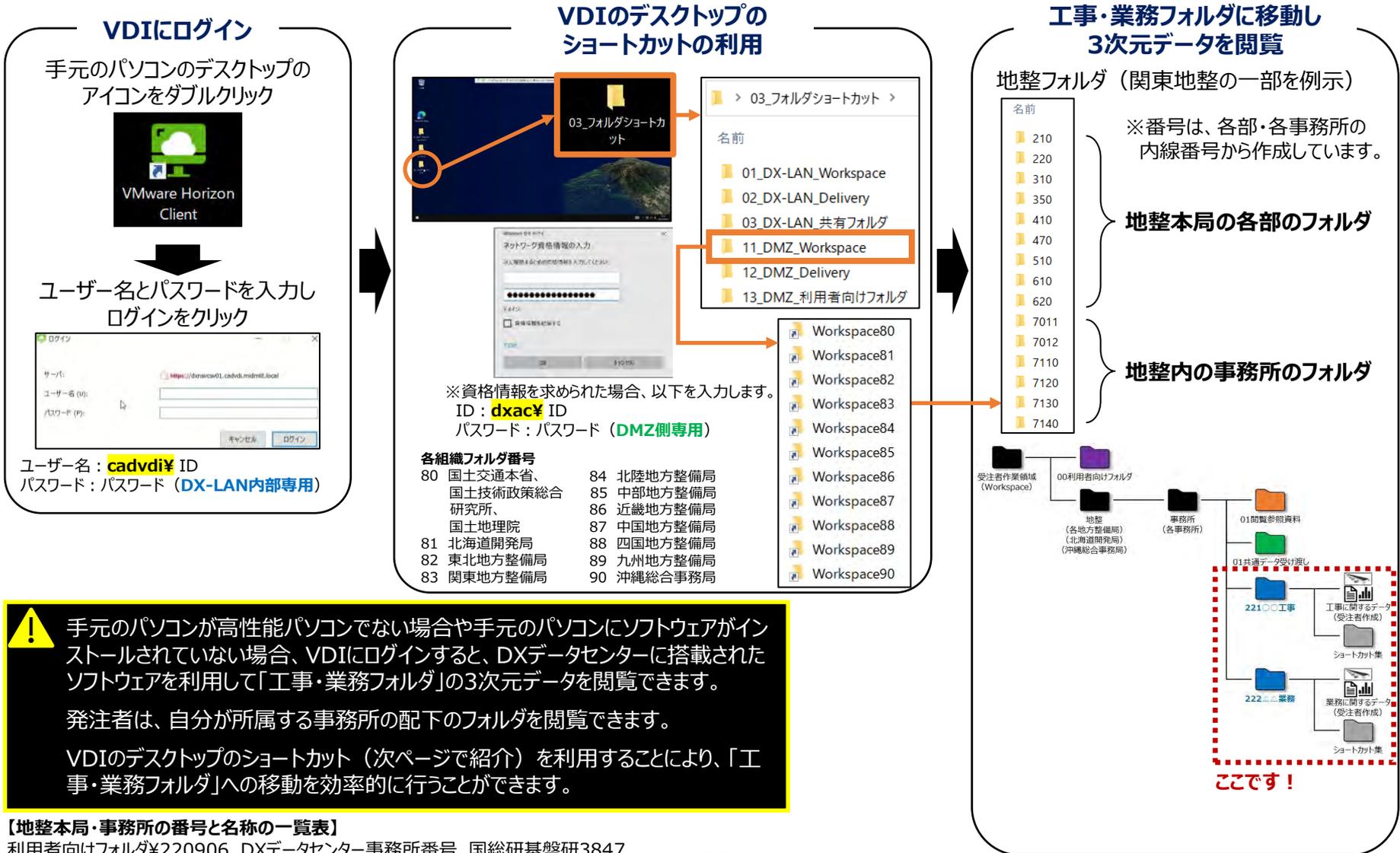
手元のパソコンに「工事・業務フォルダ」のショートカットを作成すると、次回以降の移動を効率的に行うことができます。

【地整本局・事務所の番号と名称の一覧表】

利用者向けフォルダ¥220906_DXデータセンター事務所番号_国総研基盤研3847

工事・業務フォルダの閲覧 (発注者) (※VDI経由)

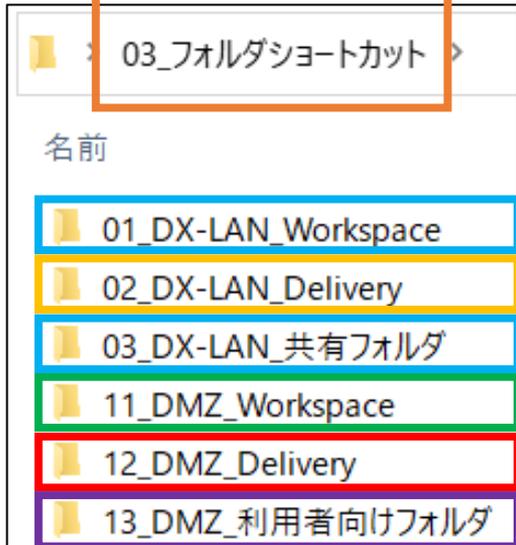
OVDIにログインし、「工事・業務フォルダ」に保存された3次元データを閲覧します。



【参考】VDIのデスクトップのショートカット (発注者)

OVDIにログインした後、VDIのデスクトップのショートカットから、「工事・業務フォルダ」に移動します。

国交省職員のVDIのデスクトップ



DX-LAN側の発注者作業領域 (Workspace) の各地整フォルダへ移動

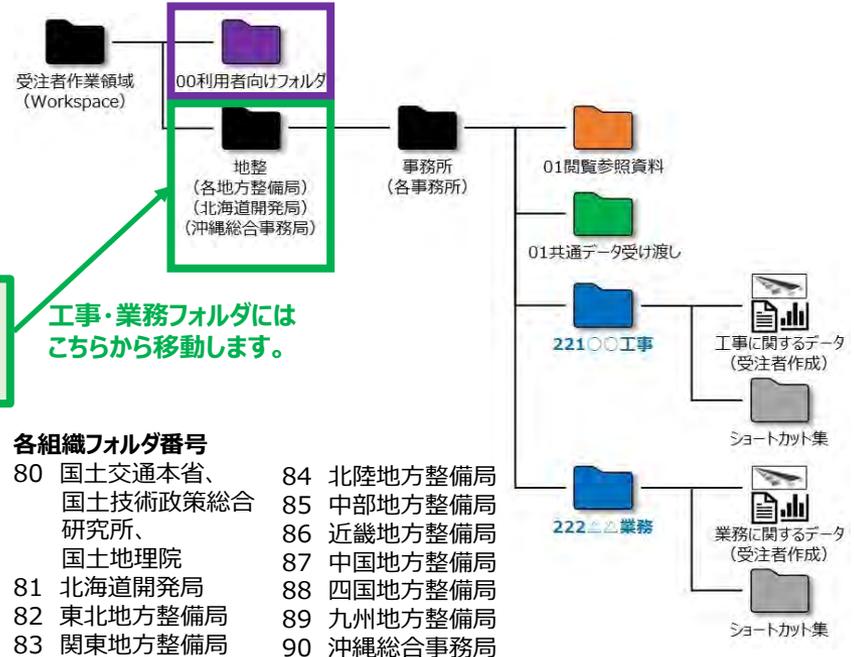
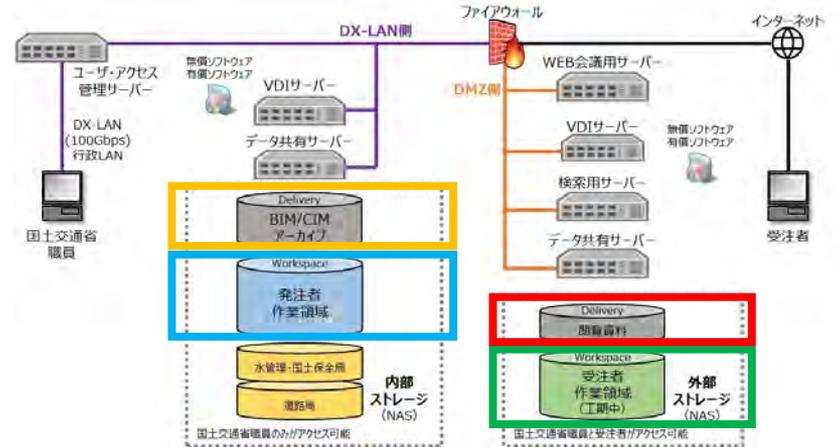
DX-LAN側のBIM/CIMアーカイブ (Delivery) の各地整フォルダへ移動

DX-LAN側の発注者作業領域 (Workspace) の共有フォルダへ移動

DMZ側の受注者作業領域 (Workspace) の各地整フォルダへ移動

DMZ側のBIM/CIMアーカイブ (Delivery) の各地整フォルダへ移動

DMZ側の受注者作業領域 (Workspace) の利用者向けフォルダへ移動



工事・業務フォルダにはこちらから移動します。

各組織フォルダ番号

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 80 国土交通本省、国土技術政策総合研究所、国土地理院 | 84 北陸地方整備局 |
| 81 北海道開発局 | 85 中部地方整備局 |
| 82 東北地方整備局 | 86 近畿地方整備局 |
| 83 関東地方整備局 | 87 中国地方整備局 |
| | 88 四国地方整備局 |
| | 89 九州地方整備局 |
| | 90 沖縄総合事務局 |

! 国交省職員と受注者ではアクセスできる領域が異なるため、デスクトップのショートカットが異なります。
Workspaceのフォルダでは、所属する「地整本局の各部」あるいは「事務所」のフォルダを閲覧できます（他の部や事務所のフォルダは閲覧できません）。

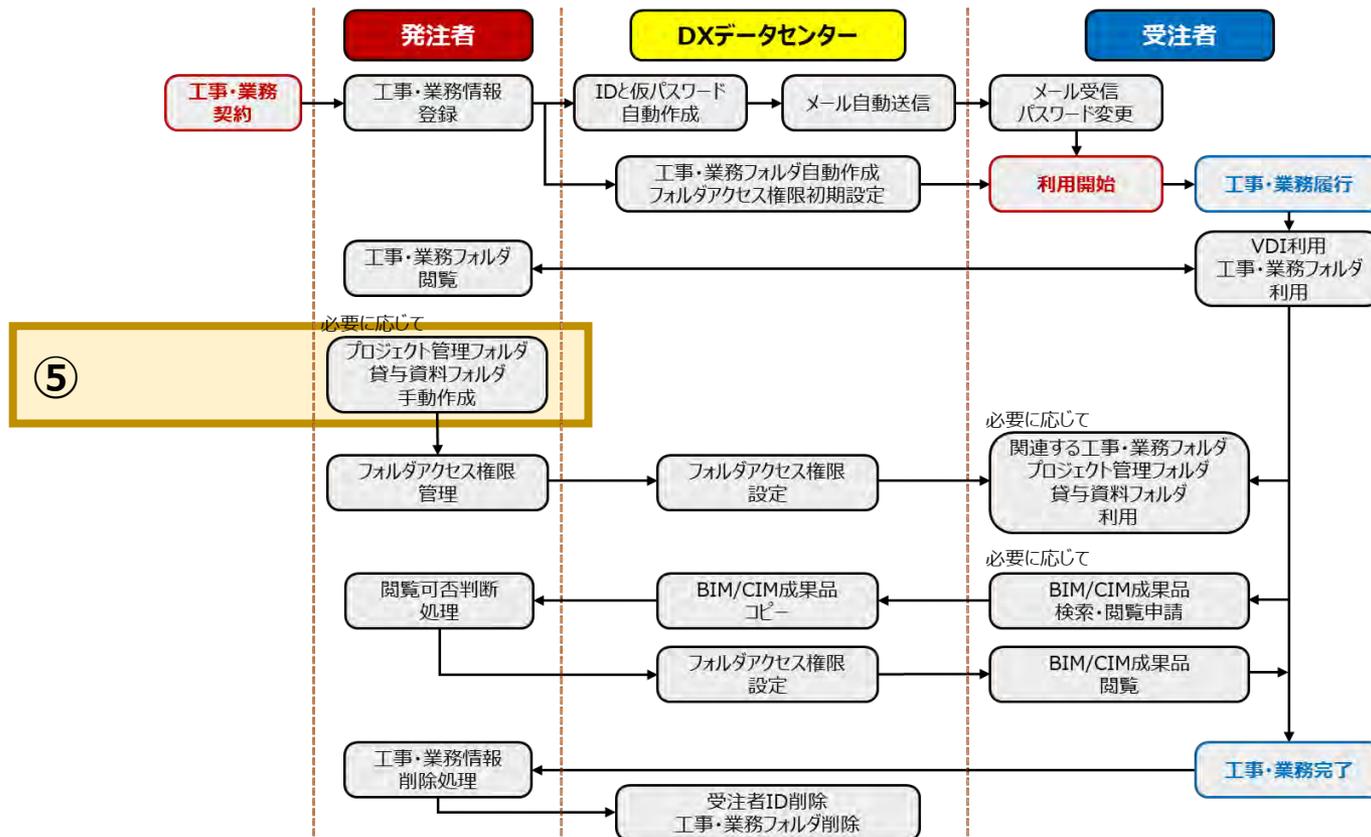
⑤ プロジェクト管理・貸与資料フォルダの作成

発注者



受注者との情報共有を行うために、必要に応じて、プロジェクト管理フォルダや貸与資料フォルダを手動で作成します。

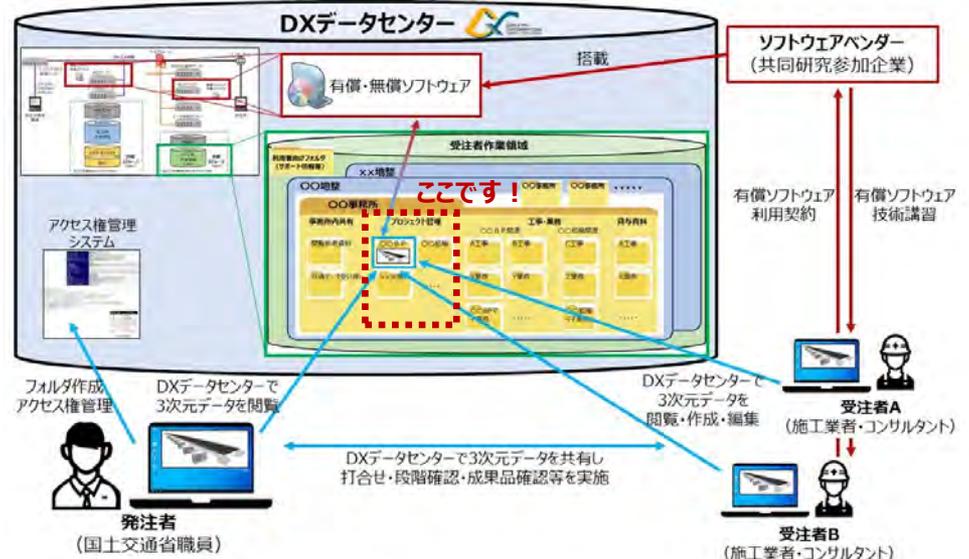
受注者



プロジェクト管理・貸与資料フォルダ

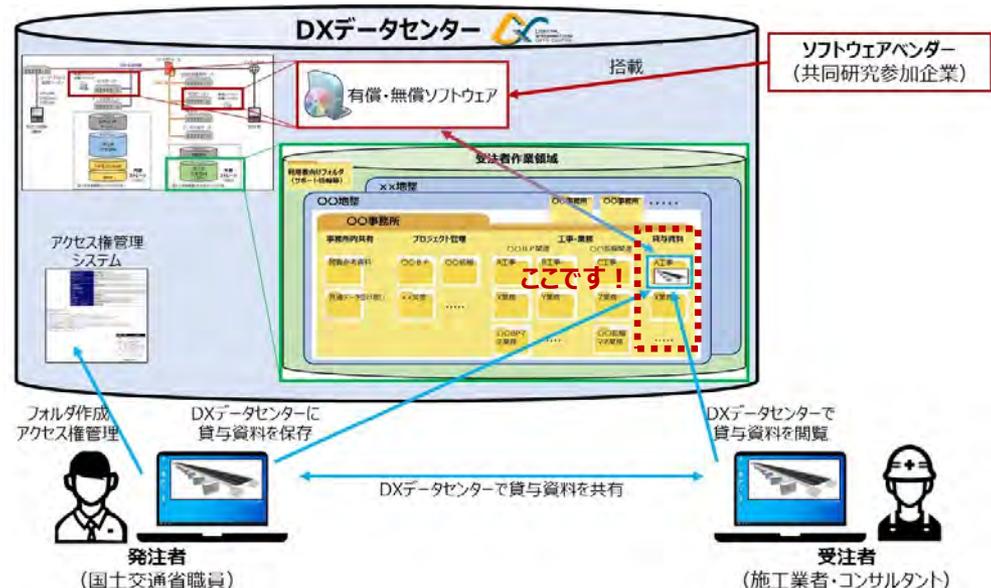
【プロジェクト管理フォルダ】

- ・発注者と複数の受注者が情報共有を行うためのフォルダ
- ・例えば、複数の受注者がBIM/CIM等の3次元データを作成・編集し、発注者および受注者が3次元データを閲覧することにより、関係者間で3次元データを共有することが可能



【貸与資料フォルダ】

- ・発注者が受注者への貸与資料などを保存し、受発注者間での情報共有を行うためのフォルダ
- ・例えば、発注者が工事・業務の貸与資料を保存し、受注者に情報提供を行うことが可能
- ・貸与資料の提供以外の情報共有にも活用が可能

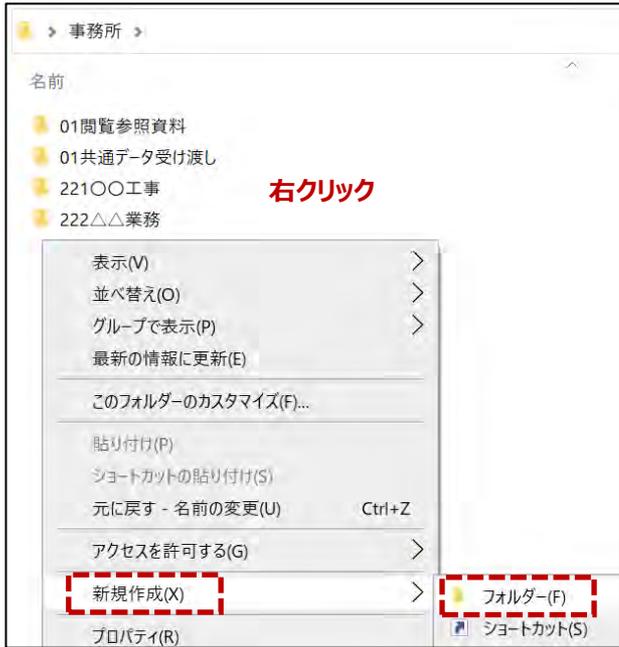


プロジェクト管理・貸与資料フォルダの作成 (発注者)

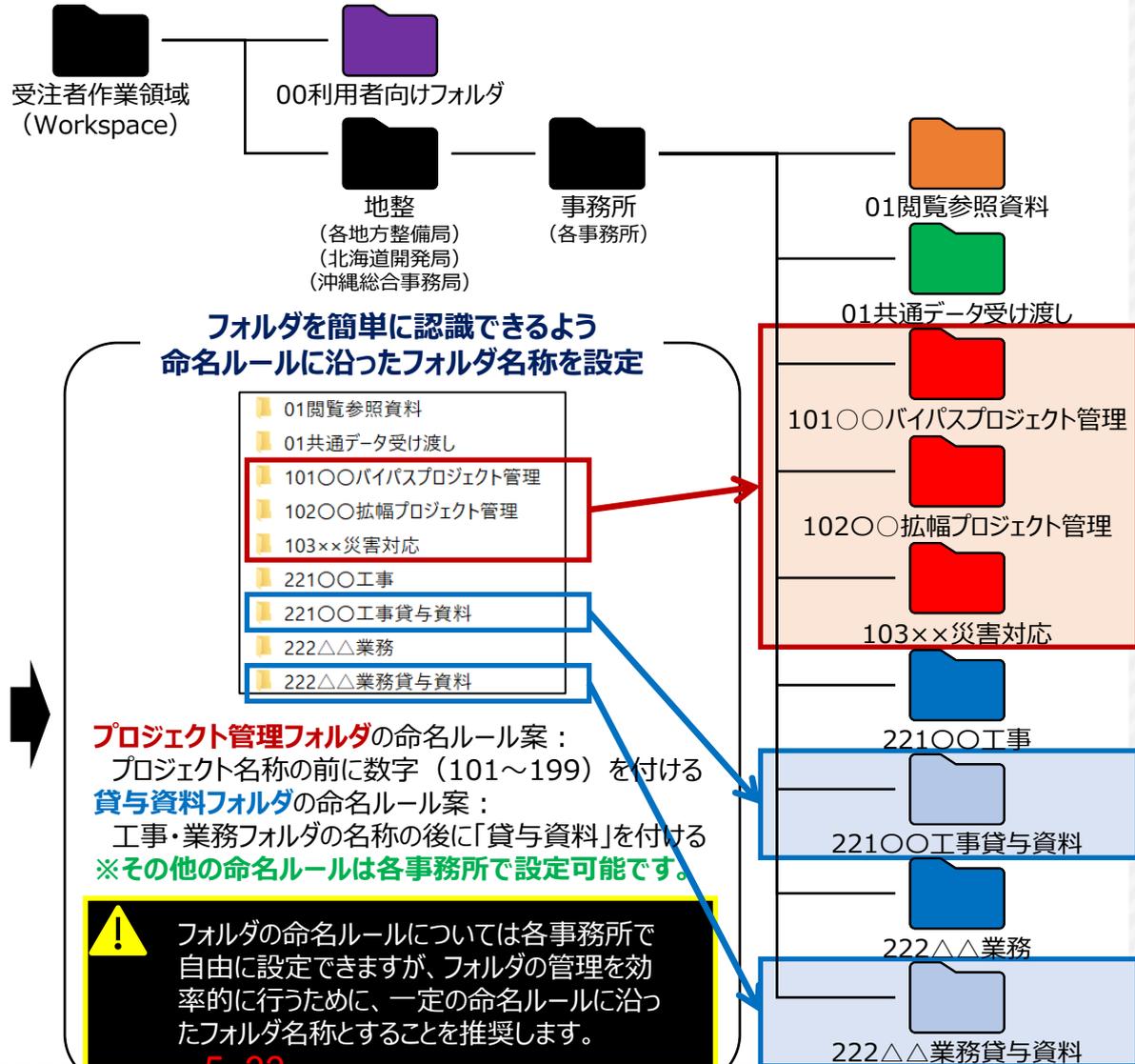
○エクスプローラーを起動し、所属する事務所のフォルダの内部に、プロジェクト管理や貸与資料などのフォルダを手動で作成します。

事務所フォルダの内部に フォルダを手動で新規作成

フォルダ内で右クリック、新規作成、フォルダを選択



右クリック



「工事・業務フォルダ」以外のフォルダは自動作成されないため、発注者が手動で新規作成する必要があります。

事務所内に作成したフォルダはDXデータセンターのシステムで自動認識され、受注者のアクセス権を設定できます。



フォルダの命名ルールについては各事務所で自由に設定できますが、フォルダの管理を効率的に行うために、一定の命名ルールに沿ったフォルダ名称とすることを推奨します。

⑥ フォルダのアクセス権管理と利用

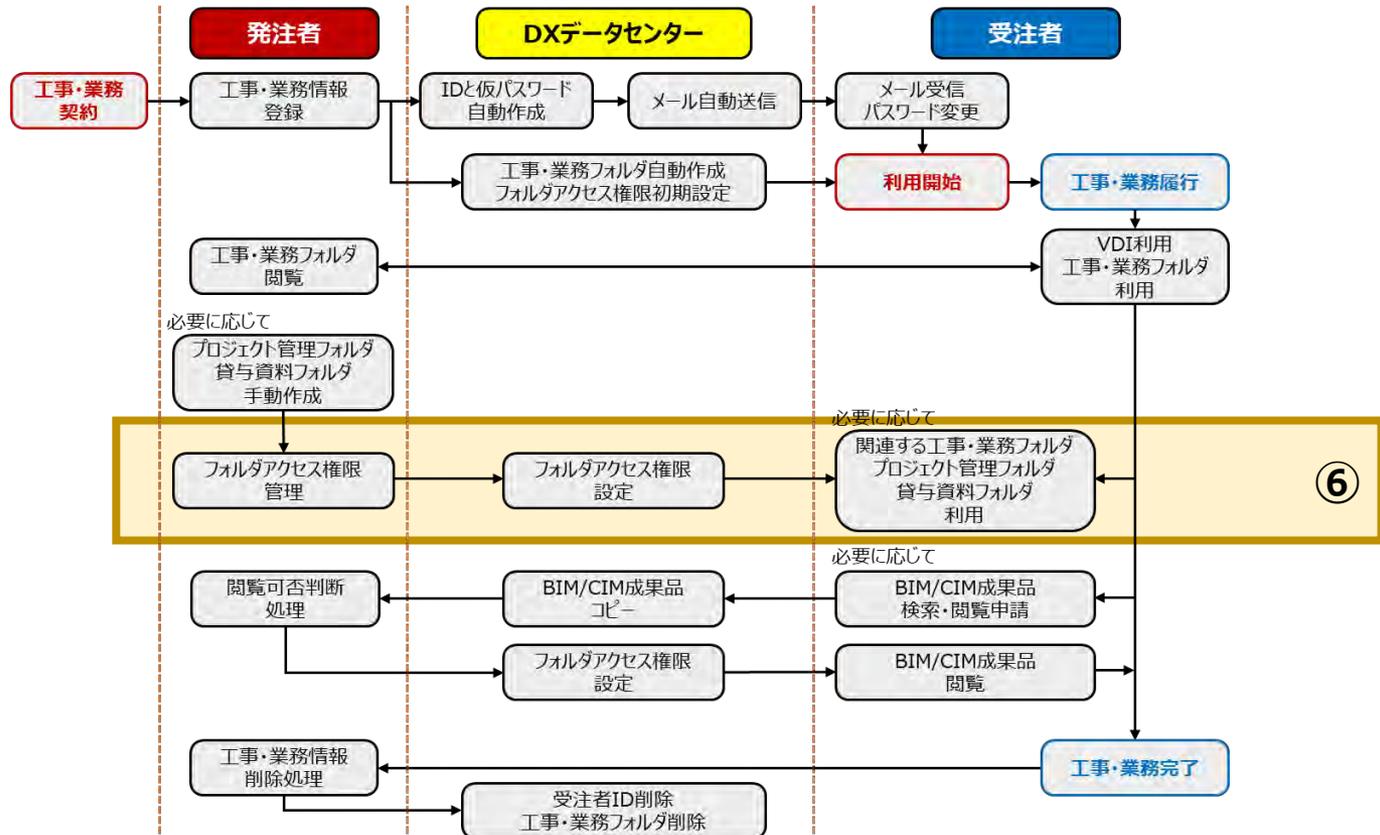
発注者



必要に応じて、受注者が利用するフォルダのアクセス権を管理します。
契約した工事・業務のフォルダに加えて、他のフォルダの利用を許可します。

必要に応じて、受注した工事・業務のフォルダに加えて、関連する他の工事・業務のフォルダ、プロジェクト管理フォルダなどを利用できるようになります。

受注者



フォルダのアクセス権限の管理 (発注者)

○工事・業務の契約後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から受注者のアクセス権（読み取り／変更）を設定します。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。
(※VDIへのログインは不要です)

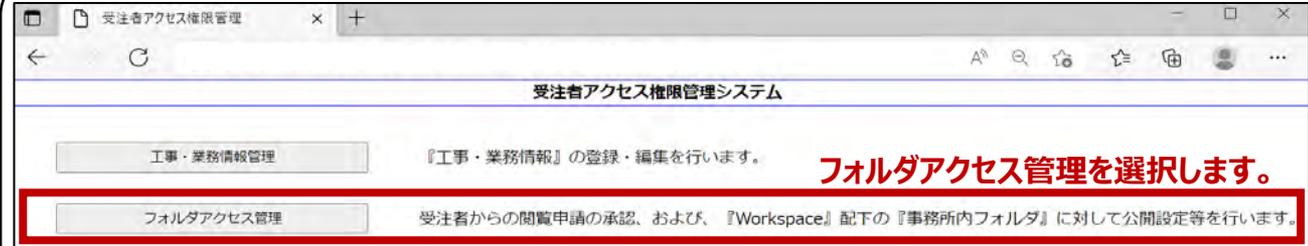
IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
(※パスワードはDMZ側専用です)



! 受注案件の「工事・業務フォルダ」は、常に「変更」の権限です。受注している工事・業務以外の「工事・業務フォルダ」は、必要に応じて、「読み取り」の権限を付与できます。

「プロジェクト管理フォルダ」や「貸与資料フォルダ」を作成した場合、アクセス権限の設定が必要です。

アクセス権の管理



ログインID	発注担当者名	発注担当者メールアドレス	年度	工事業務名	工事業務種別	作成フォルダ名	工期	受注者名	受注者メールアドレス	受注者メールアドレス
627210-01	青森 太郎	aomori_tarou@mit.go.jp	2021	青森河川工事	工事		2021/12/01	富士通	fuji-taro@jp.fujitsu.com	2021/12/20

アクセス権を設定する受注者を選択します。

ログインID	627210-01
発注担当者名	青森 太郎
発注担当者メールアドレス	aomori_tarou@mit.go.jp
年度	2022
工事業務名	青森河川工事
工事業務種別	工事
作成フォルダ名	
工期	2022/08/01
受注者名	富士通
受注者メールアドレス	fuji_taro@jp.fujitsu.com
受注者メールアドレス	2022/08/04

アクセス権を設定する受注者の情報が表示されます。

受注者選択中 事務所内フォルダ **事務所内フォルダを選択します。**

『読み取り』『変更』を許可する『フォルダ名』をチェックしてください。
『読み取り』をチェックすると、受注者はフォルダ内のファイルの読み取りを行えるようになります。
『変更』をチェックすると、受注者はフォルダ内のファイルの変更を行えるようになります。
チェックしていないフォルダは受注者には公開されません。
ただし、受注者が受注している工事・業務のフォルダは、常に『変更』を行えるため、一覧には表示されません。
他の受注者が受注している工事・業務のフォルダには『読み取り』の許可を行えますが、『変更』の許可は行えません。
必ず『閲覧権限を承認する』を最後に押してください。
赤字行は未承認のフォルダになります。

読み取り	変更	フォルダ名
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00利用者向けフォルダ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01閲覧参照資料
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	01共通データ受け渡し
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	02DXプロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02DX業務
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	221秋田河川工事

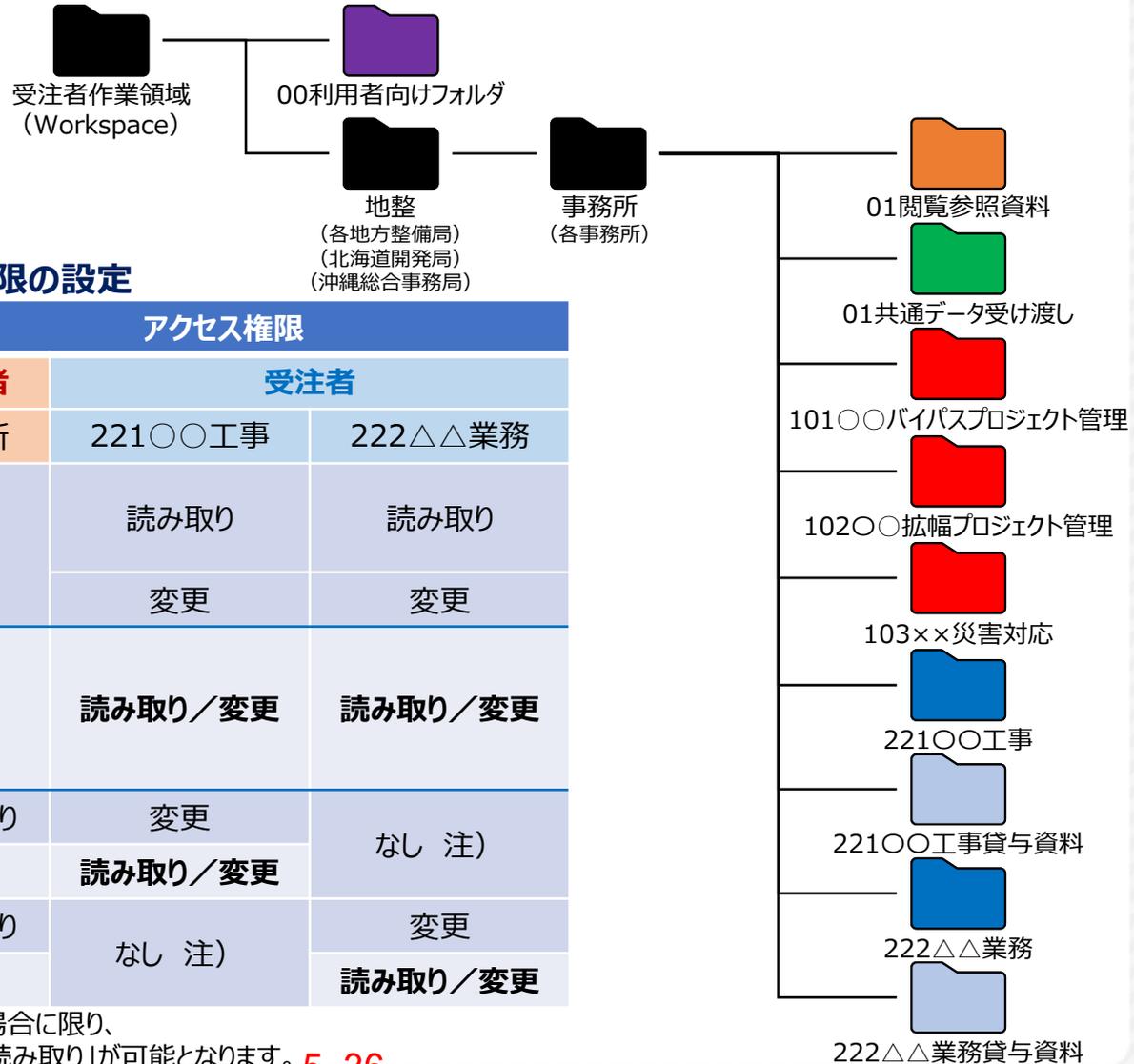
修正しないことをお勧めします。

アクセス権を設定するフォルダが表示されます。

アクセス権限を付与されたフォルダの利用 (受注者)

○発注者のアクセス権限の設定により、「プロジェクト管理フォルダ」や「貸与資料フォルダ」などの読み取り／変更の権限が付与され、「工事・業務フォルダ」と同様に利用できるようになります。

! 「工事・業務フォルダ」以外のフォルダも、VDIのフォルダダイレクト機能やFTPクライアントにより利用できます。



アクセス権限の設定

フォルダ	アクセス権限		
	発注者	受注者	
	事務所	221〇〇工事	222△△業務
00利用者向けフォルダ	変更	読み取り	読み取り
01閲覧参照資料		変更	変更
01共通データ受け渡し		変更	変更
101〇〇バイパスプロジェクト管理	変更	読み取り／変更	読み取り／変更
102〇〇拡幅プロジェクト管理		読み取り／変更	読み取り／変更
103××災害対応		読み取り／変更	読み取り／変更
221〇〇工事	読み取り	変更	なし 注)
221〇〇工事貸与資料	変更	読み取り／変更	
222△△業務	読み取り	なし 注)	変更
222△△業務貸与資料	変更		読み取り／変更

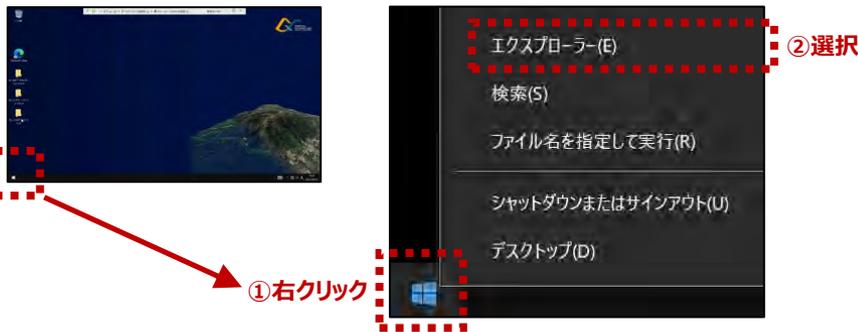
注) 発注者が、必要に応じて、追加的に許可する場合に限り、
受注者は受注案件以外の工事・業務フォルダの「読み取り」が可能となります。

アクセス権限を付与されたフォルダの利用 (受注者)

○「工事・業務フォルダ」の「ショートカット集」から、アクセス権限を付与された「プロジェクト管理フォルダ」や「貸与資料フォルダ」に移動し、各フォルダを利用します。

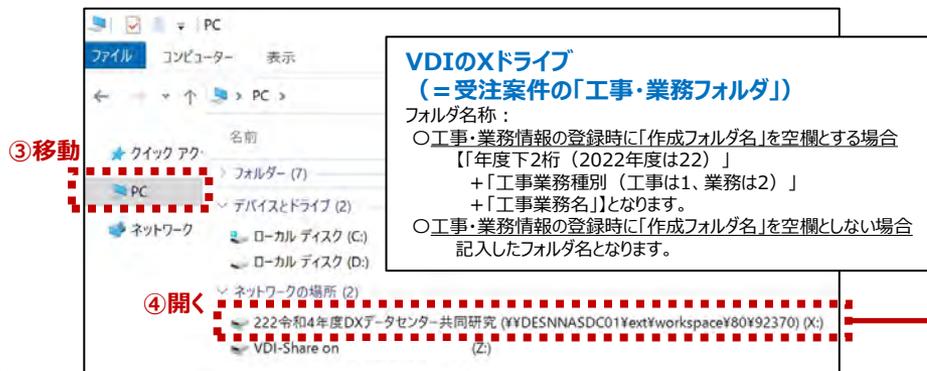
VDIログイン後、Xドライブ、工事・業務フォルダ、ショートカット集を経て、「プロジェクト管理フォルダ」や「閲覧資料フォルダ」に移動

・VDIにログインした後、デスクトップ左下のWindowsロゴを右クリックし、エクスプローラーを選択して起動



・「工事・業務フォルダ」の「ショートカット集」を開き、発注者がアクセス権限を付与した「プロジェクト管理フォルダ」や「貸与資料フォルダ」に移動して利用することが可能

・「PC」に移動し、「Xドライブ」を開き、受注案件の「工事・業務フォルダ」を開くことが可能



⑦ 工事・業務情報の削除処理

発注者

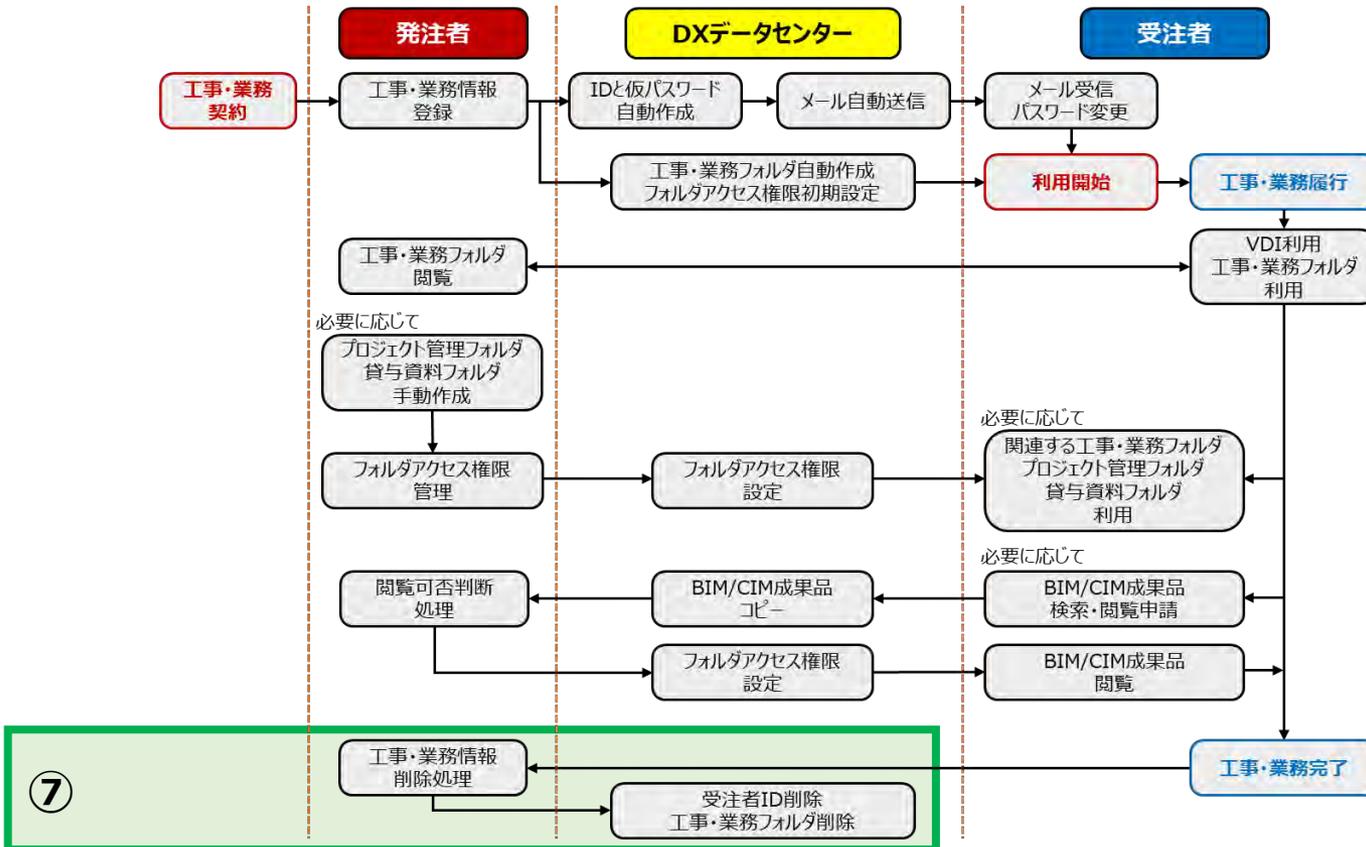


工期終了後に、工事・業務情報を削除します。

受注者



工事・業務情報の削除後、DXデータセンターの利用を終了します。



⑦

工事・業務情報の削除処理（発注者）

○工期終了後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から工事・業務情報を削除します。削除処理を行うと、受注者のID・パスワードと工事・業務フォルダが削除されます。

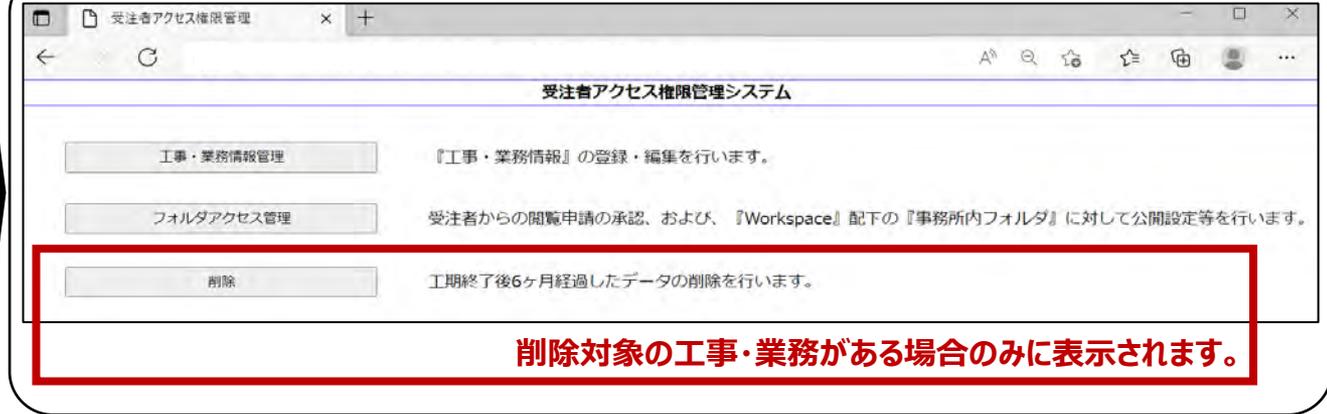
DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。
（※VDIへのログインは不要です）

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
（※パスワードはDMZ側専用です）



アクセス権管理システムのメニュー



削除画面



! 工期終了後、工事・業務情報の削除処理をお願いします。

自動配信メールやリマインド機能がいないため、発注者が自発的に削除する必要があります。

工期終了後6ヶ月経過よりも早期に削除する場合は、「工事・業務情報管理」で工期末を削除する日付よりも6ヶ月以上前に修正すると、削除できるようになります。

受注者IDと工事・業務フォルダの削除（受注者）

○工事・業務情報の削除後、DXデータセンターの利用を終了します。



利用していたIDとパスワード、工事・業務フォルダ内のすべてのデータが削除されます。

よくある質問と回答

No.	質問	回答
1	担当する工事・業務の「工事・業務フォルダ」の内部のすべてのデータが削除されますか？	削除されます。 「工事・業務フォルダ」自体が削除されるため、必要に応じて、手元のパソコン等へのデータのコピーをお願いします。
2	受注者が「プロジェクト管理フォルダ」や「共通データ受け渡しフォルダ」に保存したデータも削除されますか？	削除されません。 「工事・業務フォルダ」以外のフォルダに保存したデータについては、削除されません。
3	一度削除されたID・パスワードを再利用できますか？	再利用できません。 発注者が工事・業務情報を削除すると、受注者が利用していたID・パスワードも削除され、再利用できません。
4	新たに別の工事・業務を受注した場合、過去のID・パスワードを利用できますか？	利用できません。 新たに別の工事・業務を受注した場合、新しいID・パスワードが発行されます。
5	新たに別の工事・業務を受注した場合、過去の工事・業務と同様に「プロジェクト管理フォルダ」や「共通データ受け渡しフォルダ」を利用できますか？	発注者によるアクセス権の付与が必要です。 新しいIDで「プロジェクト管理フォルダ」や「共通データ受け渡しフォルダ」を利用するためには、新しいIDに対して発注者がアクセス権を付与する必要があります。

【参考】BIM/CIM成果品の検索から閲覧まで

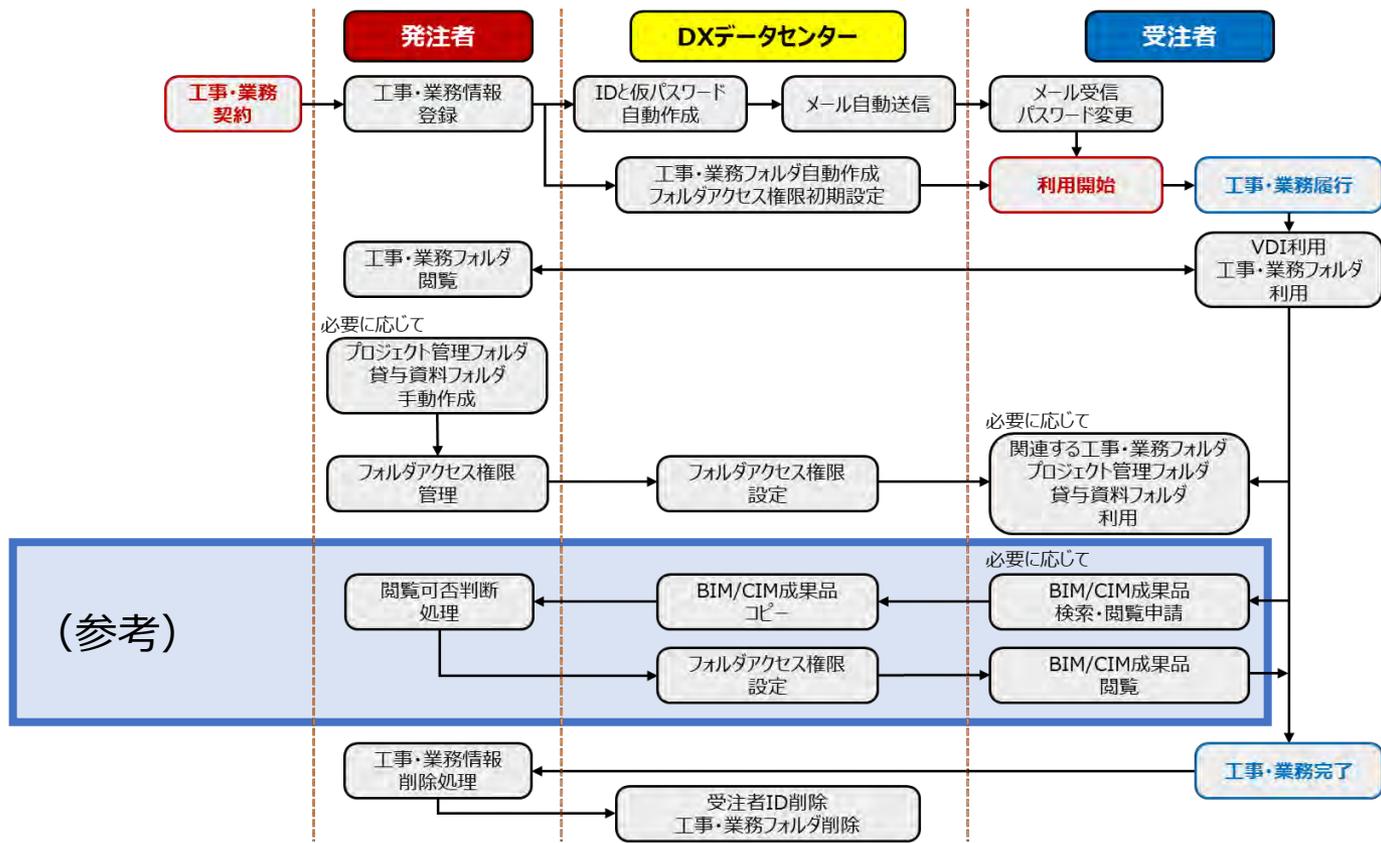
発注者



受注者からのBIM/CIM成果品の閲覧申請に対し、承認／非承認を判断します。

必要に応じて、BIM/CIM成果品を検索し、閲覧許可を申請します。
発注者の承認後、BIM/CIM成果品のコピーを閲覧します。

受注者



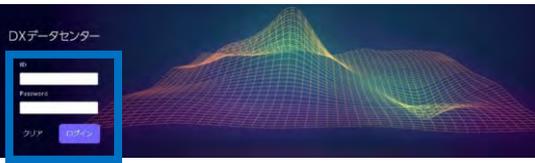
(参考)

【参考】BIM/CIM成果品の検索（受注者）

○「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「BIM/CIM検索」から検索システムを利用し、BIM/CIM成果品（平成29～令和3年度の国土交通省の土木分野の工事・業務で作成された約1000件）を検索します。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにログインします。



「BIM/CIM検索」を選択し、検索システムにアクセスします。

メニュー

- ユーザー情報変更
- アクセス権確認
- BIM/CIM検索**
- WEB会議(主催者)
- WEB会議(参加者)
- 閲覧資料

検索システムの画面（検索条件と検索結果）



【検索結果】
※検索条件に該当するものが地図上に表示されます。

【検索条件】

- ・工事／業務名：工事／業務の名称（入力式）
- ・事務所名：事務所の名称（入力式）
- ・工期開始・工期終了：西暦年月日（カレンダー選択または入力式）
- ・所在地：所在地の名称（入力式）
- ・緯度・経度：緯度・経度（入力式）
- ・キーワード：任意の文字列（入力式）

※一部の条件の入力・選択でも検索できます。

【検索結果】
※検索条件に該当するものがリストで表示されます。



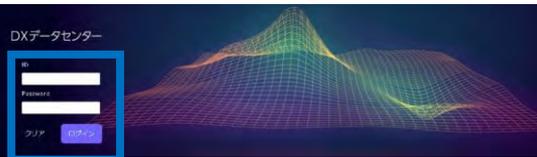
発注者は「検索ツール」を利用した簡易な検索もできます。「検索ツール」の利用方法については、「スタートガイド（国土交通省職員編）」をご参照ください。

【参考】BIM/CIM成果品の閲覧申請（受注者）

○受注案件の工事・業務の貸与資料として必要な場合、かつ、発注者から貸与資料としての貸与が可能なBIM/CIM成果品（電子成果品のICONフォルダの内容）の場合に、閲覧申請します。

DXデータセンターの ポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにログインします。

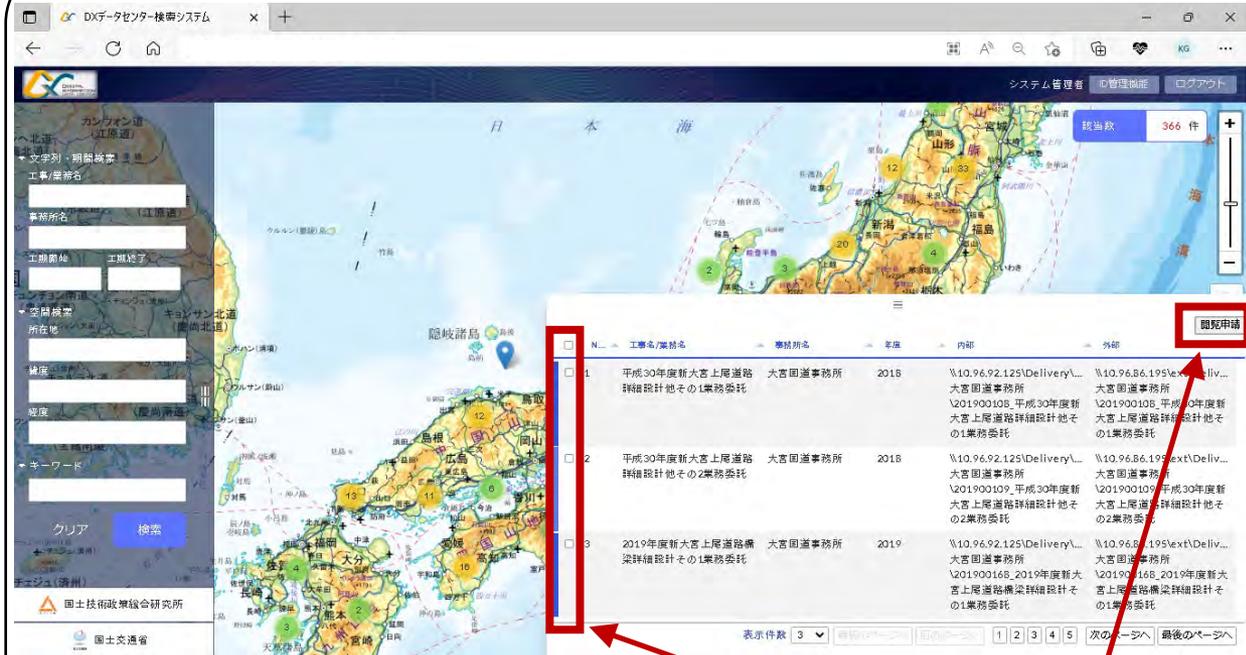


「BIM/CIM検索」を選択し、検索システムにアクセスします。

メニュー

- ユーザー情報変更
- アクセス権確認
- BIM/CIM検索**
- WEB会議(主催者)
- WEB会議(参加者)
- 閲覧資料

検索システムの画面（閲覧申請）



No.	工事名/業種名	業務期名	年度	内容	外部
<input type="checkbox"/>	平成30年度新大宮上尾道路 詳細設計地その1業務委託	大宮国道事務所	2018	\\10.96.92.125\Delivery\... 大宮国道事務所 \\201900108_平成30年度新 大宮上尾道路詳細設計地そ の1業務委託	\\10.96.86.195\ext\Deliv... 大宮国道事務所 \\201900108_平成30年度新 大宮上尾道路詳細設計地そ の1業務委託
<input type="checkbox"/>	平成30年度新大宮上尾道路 詳細設計地その2業務委託	大宮国道事務所	2018	\\10.96.92.125\Delivery\... 大宮国道事務所 \\201900109_平成30年度新 大宮上尾道路詳細設計地そ の2業務委託	\\10.96.86.195\ext\Deliv... 大宮国道事務所 \\201900109_平成30年度新 大宮上尾道路詳細設計地そ の2業務委託
<input type="checkbox"/>	2019年度新大宮上尾道路橋 梁詳細設計その1業務委託	大宮国道事務所	2019	\\10.96.92.125\Delivery\... 大宮国道事務所 \\201900168_2019年度新大 宮上尾道路橋梁詳細設計そ の1業務委託	\\10.96.86.195\ext\Deliv... 大宮国道事務所 \\201900168_2019年度新大 宮上尾道路橋梁詳細設計そ の1業務委託

閲覧申請するBIM/CIM成果品をチェックし、閲覧申請をクリックします。



閲覧申請を発注者に自動的に通知する機能がないため、閲覧申請を送信した後に、受注者から発注者に閲覧申請を送信したことをメールや電話などで連絡し、申請処理を依頼する必要があります。

受注者の閲覧申請から発注者の申請処理までの作業を円滑に進めるために、閲覧申請を送信する前に、受発注者間で資料貸与の可否について協議を行うことを推奨します。

【参考】閲覧申請の処理（発注者）

○事務所の工事・業務の担当者が「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」からBIM/CIM成果品の閲覧申請の処理を行います。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のパソコンでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。
（※VDIへのログインは不要です）

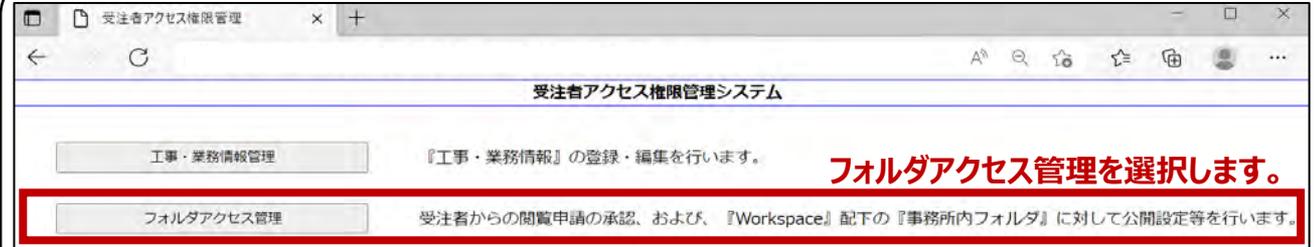
IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
（※パスワードはDMZ側専用です）



! 事務所の工事・業務の担当者が発注案件の貸与資料として貸与できるBIM/CIM成果品の閲覧申請に対して承認処理を行います。

DXデータセンターのシステム側でBIM/CIM成果品の閲覧環境を整えるために、受注者からの閲覧申請の連絡の翌日以降に承認処理を行います。

アクセス権の管理



ログインID	発注担当者名	発注担当者メールアドレス	年度	工事業務名	工事業務種別	作成フォルダ名	工期	受注者名	受注者メールアドレス	受注者メール送信日
82721-01	青森 太郎	aomori_tarou@mlit.go.jp	2021	青森河川工事	工事		2021/12/01	富士通	fuji-taro@jp.fujitsu.com	2021/12/20

閲覧申請を送信した受注者を選択します。

ログインID	827210-01
発注担当者名	青森 太郎
発注担当者メールアドレス	aomori_tarou@mlit.go.jp
年度	2022
工事業務名	青森河川工事
工事業務種別	工事
作成フォルダ名	
工期	2022/08/01
受注者名	富士通
受注者メールアドレス	fuji.taro@jp.fujitsu.com
受注者メール送信日	2022/08/04

アクセス権を設定する受注者の情報が表示されます。

受注者閲覧申請 | 事務所内フォルダ **受注者閲覧申請を選択します。**

閲覧を許可する『工事名/業務名』をチェックしてください。チェックしていない工事・業務のフォルダは受注者には公開されません。必ず『閲覧権限を承認する』を最後に押してください。
赤字行は未承認（新規申請）のフォルダになります。

許可	工事/業務名	年度
<input type="checkbox"/>	新城地区維持補修工事	2019
<input type="checkbox"/>	津軽自動車道道路附属物損傷復旧工事（単備契約）	2020
<input type="checkbox"/>	津軽地区道路照明施設維持工事	2020

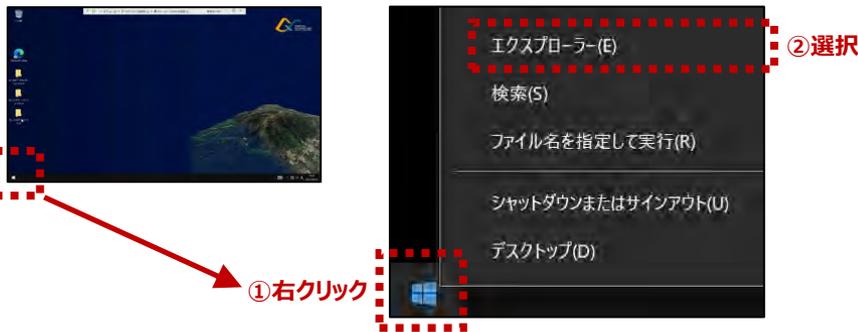
処理を行うフォルダが表示されます。

【参考】BIM/CIM成果品の閲覧（受注者）

OVDIにログインし、「工事・業務フォルダ」の「ショートカット集」から、閲覧申請が発注者により承認されたBIM/CIM成果品のフォルダに移動し、BIM/CIM成果品を閲覧します。

VDIログイン後、Xドライブ、工事・業務フォルダ、ショートカット集を経て、BIM/CIM成果品のフォルダに移動

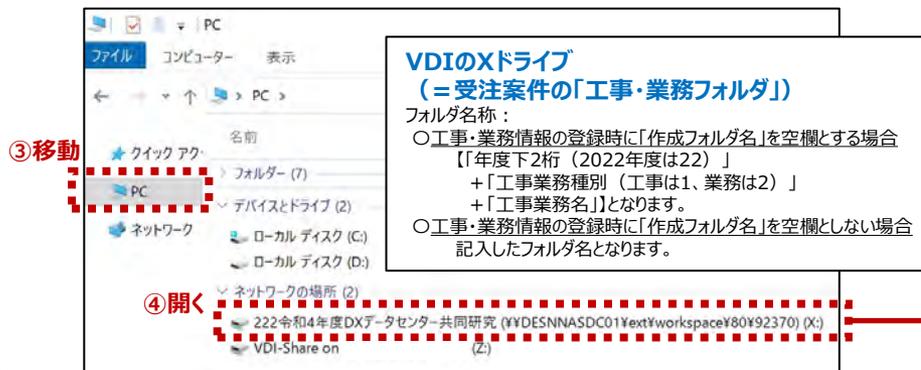
- ・VDIにログインした後、デスクトップ左下のWindowsロゴを右クリックし、エクスプローラーを選択して起動



- ・「工事・業務フォルダ」の「ショートカット集」を開き、閲覧申請が発注者により承認されたBIM/CIM成果品のフォルダに移動し、BIM/CIM成果品を閲覧することが可能



- ・「PC」に移動し、「Xドライブ」を開き、受注案件の「工事・業務フォルダ」を開くことが可能



VDIのXドライブ （=受注案件の「工事・業務フォルダ」）

フォルダ名称：

- 工事・業務情報の登録時に「作成フォルダ名」を空欄とする場合
【「年度下2桁（2022年度は22）」
+「工事業務種別（工事は1、業務は2）」
+「工事業務名」】となります。
- 工事・業務情報の登録時に「作成フォルダ名」を空欄としない場合
記入したフォルダ名となります。